

1. 委員会を開いた年月日及び場所

平成28年3月11日 午前10時00分開会  
小値賀町役場 3階第1会議室

2. 出席した委員の氏名

委員長	土川重佳
副委員長	末永一郎
委員	宮崎良保
委員	横山弘藏
委員	横浦英明
委員	松屋治郎
委員	今田光弘

3. 欠席した委員の氏名

なし

4. 出席した委員外議員の氏名

議長	立石隆教
----	------

5. 説明のため出席した者

町長	西浩三
副町長	谷良一
教育長	吉元勝信
会計管理者	大田一夫
総務課長	中川一也
住民課長	西村久之彦
福祉事務所長	植村敏彦
産業振興課長心得	中村慶幸
産業振興課理事	永井克宜
建設課長	蛭子晴市
教育次長	田川幸信
農業委員会事務局長	尾崎孝三

6. 職務のため出席した者

議会事務局長	尾野英昭
議会事務局書記	岩坪百合

7. 付託を受けた事件の件名

議案第35号 平成28年度小値賀町一般会計予算

開会時刻 10 : 00

音声 7/8

**委員長（土川重佳）** 皆さんおはようございます。

ただいまから本日の予算特別委員会を開会する。

昨日に引き続き、一般会計の歳出から質疑を行う。

今日は第 3 款・民生費、次に第 4 款・衛生費、第 7 款・土木費、第 10 款・災害復旧費、第 5 款・農林水産業費、第 6 款・商工費、第 9 款・教育費の終了後、全課長等に入ってもらい、一般会計予算歳入歳出全般について質疑を行う。その後、再度、全課長に入室してもらい、一般会計予算歳入歳出全般について質疑願う。その後、第 2 表・債務負担行為、次に第 3 表・地方債の質疑をお願いする。

では第 3 款・民生費から、款を追って質疑願う。

### **第 3 款・民 生 費**

末永委員

**委員（末永一朗）** 47 ページの独居老人ベルについて伺う。去年より若干増えていて良いことだと思っているが、これからも増やしていく考えなのか。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 独居ベルについては、諸問題を含んでいるとはいえ、今のところ小値賀町にとっては大事な独居老人を守るためのシステムだと思っているので、申請によって設置をしていっているが、今回、民生委員等にも協力をお願いして増やしたいと考えている。

**委員長（土川重佳）** 末永委員

**委員（末永一朗）** それと、一般質問でしたように、民生委員の仕事がこれから一番大切になると思う。所長も知っているとおり、1 か月に 1 回、独居老人とか保護世帯をチェックして結果を提出することになっていると思うが、それを 14 名の中で、調査結果を持ってきていない人に対して、ちゃんとチェックして持ってくるように、そういう指導もしてもらいたいと思うが、いかがか。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 民生委員会の定例会も月に 1 回あっているし、その折にも民生委員の会長から先日、独居老人が亡くなったということで、今後、そういうところがあれば重点的に訪問をして、独居老人ベルの設置が必要であれば役場に申し出て下さいということも言っていたので、こちらのほうからもお願いしていきたい。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 50 ページに、28 年度から始まる放課後児童クラブというのがあるが、本来、これは役場直営でなくても十分いいと思うが、今年はこのように報酬と賃金をみているが、来年度以降について考えを聞かせてほしい。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 放課後児童クラブについては、当町でも今までなかった事業であるし、民間でできる場所は民間に任せたいと考えているが、先ほど委員が言ったと

おり、今年度については小値賀町直営でやっていきたいと考えているが、将来的には、将来が1年後2年後とはっきりしたことは言えないが、今年初めての事なので、支援等も、将来的には自分で独立してやりたいという考えも持っているので、そこら辺も支援員とも協議をしながら、独立していくにはどういう問題点があるかということも、今年1年で検証しながら、近い将来、民間でやっていただきたいと考えている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 分かった。51ページ、20節の扶助費にこども医療費とあるが、この内容を教えてほしい。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 先日、条例の改正があったと思うが、福祉医療費の、今までは小学校に上がる前の子どもたちに対して医療費の助成をしていたが、28年度から年齢幅を中学生まで拡大するという事で、名称が少し、こどもというふうに変えているが、中身については福祉医療費の拡充ということだ。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 一番最初に戻って、45ページ。役務費に戦没者慰霊祭のクリーニング、その裏に委託料で忠魂碑清掃委託料とあるが、今回は報償費がない。これについて私は聞いて知っているが、慰霊祭が献花方式で行われるので、そういうふうなことは書いてなくて、と言われるが、我々議員も皆知っておく必要があると思うので、内容は大体分かっていると思うが、尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 慰霊祭については、議員が言ったように、例年4月に仏式と神式を交互に行っている。28年度からその方式を止めて、無宗教式の献花方式でやりたいと考えている。無宗教になるので、お坊さんもしくは神主さんは来てもらわないということで、さっき言ったように報償費もないが、それと場所も、今までは忠魂碑広場でやっていたが、今年度から天候等や参拝者の高齢化も考慮して、離島開発総合センターで実施したいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** もう1つ、大体の日でいいので、盆過ぎとか10月とか12月とか、そういつのが分かれば。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 日にちについては、遺族会の評議委員会を開催して協議してもらって、10月の始めごろがいいんじゃないかと答えを貰っているので、執行部もそこら辺を考慮しながら10月の祭りが始まる早い時期に実施したいと考えている。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 3款、48ページ、19節の介護予防住まい推進事業か、新しい事業として100万計上されているが、ここには「住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができる

よう転倒防止などの目的として、65歳以上の高齢者が住宅改修を行う経費を一部支援する」と書いているが、65歳以上の高齢者の住宅改修として100万とはあまりにも少ない気がするが、どういった経緯で何軒ぐらい予定しているのか。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 28年度から新規でやりたいと考えている事業で、対象は介護認定を受けた、要支援1、要支援2、介護1～5までの人たちについては介護のほうで対応することになっているが、その介護認定を受けていない方達を対象にしている。ということで、対象者もだいぶ少なくなるので、一応、認定を受けていない方達でうちの事務所に住宅改修できないかという相談もあっていて、そういう人たちがどうしても介護認定を受けてからじゃないと実際工事に入れなかったりとか、もしくは申請をしても介護認定にならなかったりとかということがあるので、そういう需要が少し高まってきているというのもあり、予防の段階から少し支援していきたいということで、この事業を立ち上げるようにしている。内容については、介護認定を受けた方達は費用の1割負担ということになっているが、少し差を付けるというわけじゃないが、一応、2割負担でやっていきたいと考えている。件数は20件程度を予定している。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 2割負担ということだが、上限はないのか。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 上限は、介護保険認定者を同じように16万円を上限としている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** その下の老人保護措置。これがちょっと増えているが、この内容について尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 27年度当初は対象者が1名だったが、27年度途中から2名になっているので、今回2名分でこの予算になっている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 46ページ、19節、社会福祉協議会補助金940万円。毎年、国のほうでも介護給付費を上げたり下げたり、色々問題があるようだが、それから介護士の給料の問題とか、賃金が低いとか、よく国会でも揉めているようだが、この940万という金額、どういった査定をしてこういう数字が出てくるのか伺う。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** この金額については、社協から法人運営事業ということで、かかる経費が一応、上がってくる。うちも色んなことで、本来、町がやるべきところも、公営の仕事に関する分についても社協にやってもらっているんで、その辺にかかる職員の人件費等の一部を補助する形でやっているが、その本来、町がやるべき業務を職員がどの

程度、その事業に対して従事しているかということで、一応、職員 4 名いた場合には A の方は何%、B の方はその事業について何%というような、事業に関わる比率によって、かかった額にそれを掛けていって、その比率を合算したものでこの金額を算定している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 分かった。それで、人件費とか主に言っているようだが、今の社会福祉協議会の収支の状況、この 940 万前後をずっと続けていくようだが、社会福祉協議会の収支というか、今の決算状況はどういうものか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 経営状態は良好だと聞いている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 分かった。もしよければ、ちょっと分かるような数字があれば、後で示していただければ。今は結構。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 後で示したい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 49 ページの負担金、補助金ということで、臨時福祉給付金というのがあるが、これは国のほうからは出来る限り早期に支給してと言われていると思うが、この支給時期について教えてほしい。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 5 月から申込みを開始し、早い人から 6 月から支給を順次、開始したいと思っている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 関連して質問する。この事業の内容については、今田議員はご存知だから言わなかったと思うが、国がやっている政策の 1 つで、今度 3 万円アップということだが、その一環だと思うが、この対象を何人か尋ねる。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 今回の臨時給付金だが、65 歳以上の年金受給者と 65 歳未満の低所得者で金額が違うが、年金受給者の方については 3 万円分、これを 670 人と考えている。それから障害年金とか貰っている人たちも 3 万円だが、この分を 25 名。それから通常の 3,000 円の方もいるが、昨年は 6,000 円だったが、3,000 円と 6,000 円の違いは何かというと、昨年度は 4 月から 3 月までの 1 年間の分で 6,000 円。今年は 10 月から 3 月までの 6 か月で 3,000 円ということなので、月割りにすると何も変わらないが、支給の月数が違うということで 3,000 円になっているが、その分を 275 人というふうにしていく。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 48 ページの 4 目の障がい者福祉費の委託料で障害福祉審査支払システム導入業務委託料というのが 216 万上がっているが、この内容を尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** これは障害福祉の事務を取り扱う中で、うちはシステム等を取り入れていないわけで、長崎県ではほとんどの自治体で、障害の認定であったり障害の審査支払の状況であったり、そういうのを取りまとめたり、また連合会に資料を送付したりとかについてもシステムを通じてやっているが、うちの場合は手作業で全てやっているの、今回、このシステムを入れて職員の負担を軽減しようということだが、これは厚生労働省が作成したシステムで、民間に任せるとこれではちょっと収まらない金額だが、長崎のほうからも「小値賀町だけシステムを入れてないので、出来るだけ小値賀町も導入してくれませんか」ということも踏まえて、28年度に導入したいと考えている。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 3款2項1目の中で、地域子育て支援拠点事業というのがあるが、今年度199万7,000円予算をとっている。前年は60万2,000円と、前年度から比べると3倍以上になっているが、その変わったところとはどういうところか。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 今、子育てを支援しているグループが、ぴよぴよ広場とかバンビちゃんという名前を付けて支援をしてもらっているグループがあるが、これは昨年までは単体でやっていた。それも全て一般財源でやっていたが、そういうのを1つのグループとしてやることによって補助が付くということで、3倍と言ったが、町の持ち出しについてはそう金額に変わりはないので、出来れば事業を拡大して出来るだけ多くの支援をやって、町の持ち出しも同じ金額でやれたらそれがいいということで、こういうふうになっている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 47ページ、老人福祉費、8節・報償費。敬老祝金490万円。西町長になってから毎年支給することになっているが、今日は町長がいないので細かくは質問できないが、この敬老祝金の支給の方法はどういう方法、例えば地元の商品券もいくらか混ぜるとか、そういったことも考えているのか。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 敬老祝い金の6,000円の支給は、条例で3,000円は現金、3,000円は商品券と決まっているので、今年度もそんなふうに行っていきたい。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 敬老祝い金を支給するお年寄りの人数だが、年々、どういう傾向にあるのか。増えているのか、減っているのか。そしてそのお年寄りの評判はどうか。その辺、何か情報はるか。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** 人数については、若干、微減で推移していると思っている。評判については、一応、還元率が95%であるので、問題ないのかなと思っている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 51 ページの一番上の扶助費の上のほう、子育て支援世帯保育料軽減事業費補助金 529 万 8,000 円というのがあるが、これは主要一覧で見ると全部一財になっているが、私が調べたのによると、確か過疎債が付くと思うが、450 万、間違いか。尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 福祉事務所長

**福祉事務所長（植村敏彦）** ソフトの過疎債だが、一応 450 万、まだはっきりしていないので一財ということにしているが、とりあえずそこは総務が担当になるので、総務課長お願いします。

**委員長（土川重佳）** 総務課長

**総務課長（中川一也）** 主要事業を予算書を見ながら作る作業があつて、こういう間違いがあつたのは誠に申し訳ない。予算書に合わせるべきで、見込みとして過疎債を予定している。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 51 ページ。4 目のこども園費の中の 1 節・報酬の 331 万 2,000 円。それから 7 節・賃金。臨時保育士賃金の 964 万 3,000 円。臨時調理員賃金 259 万 2,000 円。これらの委託とか臨時職員の給料は 1,500 万ぐらいになる。合計したら。こども園は今後保育料がタダになるし、預ける父兄が出てくると思うが、見る限り保育士が不足しているように感じるが、その辺の監視の行き届いた保育がちゃんと安全に出来るか、どのように考えているか。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** まず 1 点目の報酬に関してだが、これの増については平成 27 年度の給食の調理員について、調理員資格での対応をしていて、今度平成 28 年度からは現在雇用している委託職員が調理師のほかに栄養士の資格も持っている。現在は町の栄養士のほうで大まかな献立表は作って貰っていたが、栄養士の資格も持っているということで、栄養士としてのカロリー計算、献立表も現委託職員で行ってもらおうと。そのための有資格者委託料を引き上げている。それと賃金の大幅増とそれの対応についてだが、まず平成 27 年度から新法律、子ども・子育て支援法による認定こども園を始めたわけだが、次年度入所予定児の中で障害児が 2 名いる。子ども・子育て支援法の法的には障害児の入所に関しては加配での対応と言われている。新 4 歳児と 2 歳児だが、それに対応するための加配、学校などで言う加配教諭的な人を 2 名貼り付ける必要があるということで、それが 1 点。もう 1 点は平成 28 年度入所予定児の中でアレルギーを持った子どもが、調査の中では 4 名いる。それと 0 歳から 1 歳にかけては離乳食等の段階食の提供がある。アレルギーと段階食の対応について、賃金が大幅に伸びた格好になっている。それと職員の対応についてだが、入所の申請をしてもらい、福祉事務所で審査をして入所が決定するが、その対応のために今回、臨時職員の対応を少し増やしているという状況だ。

**委員長（土川重佳）** 教育長

**教育長（吉元勝信）** 私のほうからも補足する。委員が言うように、新年度から保育料の一部無料化となるので、利用者が少し増えるんじゃないかと考えている。町内に資格を持っている方が、もう限界に近い状況にあるのは間違いないと思う。そういうことも考えながら、現在、仕事をしていない有資格者の掘り起しとか、あるいは町外で働いている方々に小値賀で仕事をしてもらうようなことも進めていかなければならないと考えている。出来るだけ入園の要望に応えられるような態勢づくりを進めていきたい。正職員としては、新年度から 1 名採用の予定だが、それでもまだ不足している状況なので、継続して募集は総務課と連携しながらしていきたい。

**委員長（土川重佳）** ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

**委員長（土川重佳）** これで第 3 款・民生費の質疑を終わる。 38:03

（福祉事務所、教育委員会 退出）

**委員長（土川重佳）** 第 4 款・衛生費 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 4 款 1 項 3 目の小値賀町重点区域海岸漂着物地域対策推進事業というのがあるが、去年は 770 万、今年が 1,020 万と大幅に上がっている。この理由と今までの実績等が分かれば願います。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** 当初予算では昨年度より 240 万程度上がっているが、27 年度の予定で補正で組んでおり、28 年度の今回組む当初とあまり変わらない数字にはなっている。ので、範囲としては同じくらいになるかと思っているが、場所はこれから検討したいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 今から検討したいということだが、この海岸の漂着物というのは大きな問題で、ただ単にここに書いてあるように、自然の景観を維持するのに必要なものだけではなく、観光の大きな資源であると思う。今後、こういう事業が長く続くようであれば、やはり海岸管理条例等をきちっと定めて、今は業者に頼んでいるのか、それと地域での清掃活動等もきちっと規定したほうがいいかと思うが、そういった考えはないか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** 指摘のとおり、この事業も継続しているので、そういうある程度しっかりした形を作ったほうがいいと考えているので、今後検討したい。それと地域との協力と言われたが、28 年度から発生抑制対策ということで、今まで漂着ごみを片付けるだけの仕事をしてきたが、今年度 28 年からは地域住民と一緒に活動もして、海岸を守るという趣旨に基づいて事業を行いたいと考えている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 関連して質問するが、57 ページに漂着ごみ回収処理臨時雇賃金というのが 41 万 6,000 円ある。さっき課長が説明したように、地域と一体化してやるというわけ

で、これは地区にやるのか。この臨時雇賃金を尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** モデル地区を幾らか設けて、そのモデル地区のごみ対策として地元にも働きかけ、活動したいと思っている。また、そういうごみの集積している箇所の調査、計画ということでいくらかの賃金を組んでいる。そういうわけで本年度 41 万 6,000 円の予算化をしている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 地区をモデルに指定と言ったが、これは海岸清掃であれば漁業再生支援交付金でやるが、それとの区別はどのようなふうにするのか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** 今言った産業振興課での事業があると思うが、その事業とこの事業とどう重なるかというのが、私にはちょっと分からないので、そこら辺を話し合っただけで事業を行いたいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 確認のために聞くが、この漂着ごみについては業者がやっていて、臨時雇いの賃金というのは発生していなかったか。間違いないか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** そのとおり。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** その漂着ごみだが、海岸清掃等、全町的にやっていると思うが、現実問題として、ある地区では漂着ごみを海岸で燃やしているという現実がある。これは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律というのがあり、確か平成 13 年か 14 年から全面的に禁止されているはず。それを実際にはやむを得ないということで見逃しているわけだが、本来やはり体に悪いというか、ちょっと逸れるかもしれないが、子育て事業とか色んなことを考えて、例えば子どもをたくさん作ってほしいとか、外から移住者を呼ぶという時に、やはり海岸で物を燃やしているというのを見た時点で、小値賀の魅力はだいぶ消えると思う。そういう意味では、色んなお金を持ってくるとかもあると思うが、もう少し予算を付けてもらって、今年すぐとは言わないが、法律に基づいて適正な処理をすれば。確かに難しい問題もあると思うが、例えば今、そういう所に漂着ごみ専用の小さな焼却炉とか、あるいはプラスチックを油に分解する装置とか、色々、今出来ているようなので、色々研究していただきたいと思うが。その辺の考えはどうか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** その辺は大変難しい問題であり、今後、どういう状況かを調査して検討していきたいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 56 ページ、保健衛生費の 19 節・看護師奨学金補助 120 万円。今、看

護師の奨学金を利用している人は何人ぐらいか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） ご存知のとおり 27 年度の予算については全額落としている。いなかったということだが、28 年度は 1 名を予定している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 慢性的な看護師不足が続いていたが、そういった状況の中では、今後の見通しについて分かっているならば、願います。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） ご存知のとおり、この奨学金を受けると、卒業後、小値賀町に勤める形になるが、中々そういう点で、一旦は向こうに就職したいというのがあり、中々、看護師の学校には行っているが、奨学金を借りる人が少ないのが現状で、これからはもう少し、働きやすい環境で、一旦は勤めてもらい、その後帰って来てもらってもいいかと考えており、少し条件を緩和して借りやすい体制にしていきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 2 目・予防費で予防接種業務委託料とかあるが、今、ニュース等で話題になっているが、ブラジルでのジカ熱、あれが日本にも発生したとかいうが、その辺の対策とか準備はしているのか。直接は関係ないが、もしよかったらここで答えてほしい。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） そのジカ熱に関しては、今、ブラジル、南米で流行っているということがあがるが、あそこに渡航して帰って来た人にそういう症状が現れたということで検疫をしているが、そういう情報を、うちのほうに例えば最近渡航歴がある人が移動してくる場合は情報が入るようになっており、その点は大丈夫だと思うが、注意しながら管理していきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 58 ページに大型生ごみ処理機ということで 510 万計上されているが、この大きさというか処理能力、設置場所を教えてください。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 処理能力だが、1 日に 50 kg の生ごみを処理する。大きさは、地中に埋めるような形だが、四角、一辺が 2m 程度の深さだ。それと地域だが、3 箇所を考えており、今のところ、腹案はあるが地元と諮りたいと思っているので、今のところ 3 箇所という程度でお願いしたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） その生ごみ処理の対象というか、どういうふうに使われるのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 処理としては先程、地区を 3 地区と考えているということだが、その周りの住民に働き掛けをして、その中に入れてもらうということで、管理としては生

ごみを分解する薬を入れるので、そういう部分に関しては町で管理をしたい。初めてのことで、そういう形で実施したいと思う。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** もう少し下で、生ごみ処理機の設置事業処理金ということで、これは各家庭の生ごみ処理機を対象にしているのかと思うが、これが昨年度 15 万だったのが今年 112 万ということで、増額している。この辺の説明を。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** これは、屋外に設置している地上型のコンポスト、バケツをひっくり返したようなやつと、家庭内に置いておく、電気乾燥する生ごみ処理機があるが、今までも半分の補助を行っていたが、中々利用者がいないということで、今回、限度枠は設けるが 8 割補助ということで、地上型は 100 個、家庭内の電気乾燥は 10 個を考えている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 8 割負担ということでびっくりした。長崎県内では 5 割というところも少ないぐらい、あるいは今まで 3 万円だったと思うが、殆ど 2 万円ぐらいということで、それが 8 割負担ということでもう少し金額が上がるんだと思うが、ただ小値賀の場合、条件として小値賀町内で購入するという、しかも購入の前でなければダメだということで、県内のほかの市町を見ると、大きいところだと買う場所が多いので町内あるいは市内というケースがあるが、多くのところがどこで買っていいと。しかも買った後、領収書を付ければ出すと、そういう形が、もしかすると一番普及しやすいかと思うが。もちろん、町内でお金を使うということは必要だと思うが、ごみ焼却場の処理能力とか傷み方とか考えると、思い切ってそういう対策に関する費用を増やした方が結果的には良いのではないかと思うが、どうか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** これから先、焼却炉が古くなったということで、生ごみも先々は収集しないということで、今、検討しているので、それに向けて各自、家で処理する方法をこういう形で検討していきたいと思っている。それと、町外からの購入ということで、今の段階では委員が言ったように町内の消費も考えているので、今は町内と考えている。先々は検討したい。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 塵芥処理費について伺うが、61 ページの 15 節、4,240 万円、ごみ焼却場大規模改修工事。この財源が振興基金の取り崩しか、4,000 万出ている。こういった塵芥処理に関するごみ問題に関しては、国庫支出金とか県支出金とか、そういった補助対象ではないと聞いているが、塵芥処理に関するこういった大きな出費が時々これから出てくると思うが、その割にはごみの処理費、収入の部が出ていたが、5~600 万程度だった。それで、やはりごみにかかる負担というのは大きな赤字になっているが、こういった大きな支出が今後見込まれる中、例えばごみ問題に関する別の基金を設けるとか、そういったこと

は出来ないものか。

**委員長（土川重佳）** 総務課長

**総務課長（中川一也）** 基金については、特定目的基金ということで、今、11個の基金がある。それに定額運用基金がまた5つあり、そのほかに財政調整基金と減債基金ということで、基金の数が相当量ある。今言うように、本当にきちんと目的別に基金を作るということであれば、こういった廃棄物対策の基金を設けるということも1つの考え方であると思うが、そのことについては、ここで作る作らないの話は、町長もいないし答えるところではないが、基本的には一般財源の余剰金を積むということなので、積んでいるところだが、その基金について、今後内部で検討してみたいと思う。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 今回は振興基金のほうから出ているようなので、別に問題ないと思うが、当町が合併問題で揺れている時に、小値賀町単独でこういったごみの問題とか、「小さい自治体で今後やっていけるか」という圧力もあったと聞いている。ごみ問題というのはやはり自治体にとっては大きな負担になっているようなので、よく検討して今後こういった問題が町の財政のなるべく負担にならないように、良く考えてほしいとおもう。その辺はどうか。

**委員長（土川重佳）** 総務課長

**総務課長（中川一也）** 確かに外海型の離島にとっては、廃棄物の処理が一番大きな問題ということになっているので、これは逆に言えば国境離島新法の中で一番、交通とともに、取り上げられる要因ではないかと思う。そういう意味では、今度新しく出来る国境離島新法の中では、そういったものに対する色んな支援策がないのか要望するポイントでもあろうかと思うので、今後、そういった小値賀町の苦しいところを要望活動の中に入れていきたいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** その焼却場だが、今現在、1週間に3回の生ごみ回収ということで、本来、焼却場の寿命というのはどう見ても20年から30年が限度と言われているようだが、実際、小値賀の場合だと平成4年だったか、ということで、もう24年、本当に寿命が近づいている状況だと思う。特に傷む原因というのが、前に話を聞いた時には、朝、点火して夕方落とすということで、毎日収縮しているの寿命も短くなるということを知っているが、例えばこれを工夫して、とりあえず新しい焼却場を作るまでの間、例えばだが、収集を2回にして、集中して燃やす日、あるいは1週間の中で5日間燃やして2日間は止めるとか、出来れば、例えば4日間連続運転して、あとは完全に止めてしまうとか、そういうやりくりをすると、何とかもう少しもつのかなという気がするが、その辺はどう考えているか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** そういう形での延ばし方もあるかとは思いますが、生ごみの収集とい

うことで、ちょっと長時間置いておけないということで、今までは今、言ったような形での焼却を行なっている。なお、今、今田議員が言ったように平成4年に出来た品物なので、28年度で23、4年になる。今回の大規模改修であと6、7年はもてると考えているので、それで30年近くなる。それで今の焼却場は終わりだろうと思うので、それまでのうちに先程言った生ごみの対策とかを検討していきたいと思っているし、態勢を整えたいと思っている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 59ページの委託料の中でがん検診のことが出ているが、去年より少し数字が上回っているようなので、これは受診した人が多いからこんなに数字が変わったのか。そうであれば何人ぐらい受診したのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） がん検診については、委託料を診療所に払うが、従来は手数料を引いて診療所に渡していた。全体の検診があつて、その中から個人負担金をもらうが、その分を従来は差し引いて向こうに渡していたが、診療所が当然、取るわけなので。今回はその手数料は役場で徴収して、それと一緒に委託料として払うもので、その手数料の分が増えたということと、町長も所信表明で言ったが、今回、バリウムじゃなくてピロリ菌の検査をするようにしたので、その分が増えた。人数的にはそう変わらないと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 浦 委員

委員（浦 英明） 先程今田議員が質問した大型ごみの処理機、あれは3基だそうだが、辺が2mの深さが2mで、埋めるとか何とか言っていたが、我々も産建で一応は説明を聞いたが、これは材料は何製だったか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） プラスチック製だ。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） それなら溶けないからいいか。それで、魚を入れて、大量に、一気に50kgとか言っていたが、聞くところによると骨が溶けないから骨は入れないとか聞いたが、もう少し詳しく説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 骨も基本的には溶ける。が、大きい骨、犬とか、犬の骨なんか入れないだろうが、大きい骨は残るが、魚の骨程度は溶ける。鳥とか。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 2mぐらいのそういう処理の仕方では、僕が調べた中ではやはり大きな骨、堅骨、とうもろこしの芯はやはり残るので、小さく切らないとダメだと書いてあったと思うが、そのままでは残るとか、そんなことはないか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 特殊な薬を入れるが、とうもろこしの芯が残るかというのは、は

つきり言って私もよく把握していない。だがそれ以外の、場合によってはプラスチック類も入ってくる可能性があるので、4、5年に1回は中を片付けて、また最初からやり直しとすることで出来るので、そういうことがあっても片付ければまた元に戻るということで考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうなると、ちょっとイメージが湧かないんで、家庭用のコンポストのでかいのという感じになるのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 約 2m×2m×2m のものを、地中に埋める。そして上を細めて50~60cm くらいに入れるところを作るが、そこから品物を入れる。なので、家庭用のコンポストを中に埋めたような形というふうに理解してもらって結構かと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） それを次から次にひっきりなしに生ごみを増やすわけだ。そうすると分解する時間がかかると思うが、どんどん溜まっていくと、多分、何ヶ月かでいっぱいになってしまうと思うが、分解のスピードは大丈夫なのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 先程、能力がいくらあるかと聞かれたが、その時に 50 kg と答えた。毎日 50 kg 以内であれば、基本的にはずっと分解して行って、先程言ったような分解できないようなものだけが下に溜まっていくようになる。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） それは分かった。そうすると、例えば設置しただけではなく、やはり見廻りとかいうのが必要と思うが、その辺の予算というのは計上されているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） そちら辺は、先程もちよっと言ったが、初めてのことなので、28年度は職員で様子を見ながら、これで可能なのかを見ながら実施したいと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） これにて衛生費の質疑を終わる。

1:14:57

住民課関係は終わりなので、退室して結構。

しばらく休憩する。

（住民課退室）

— 休憩 午前 12 時 01 分 —  
— 再開 午後 1 時 30 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

## 第7款・土 木 費

横山委員

**委員（横山弘藏）** 土木管理費の19節、81ページ。空き家解体費補助金と空き家改修費補助金。これは対象になる家屋があるのかどうか、そして何軒を見込んでいるのか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** まず空き家解体費補助金だが、3軒を見込んでいる。対象家屋があるかということだが、基本的には危険家屋ということで、第三者がその空き家からの飛散した瓦とか板で被害が及ぶような空き家が対象になるので、あるかと言われればあると思っている。空き家改修費補助金だが、2軒予定している。申し訳ないが、現在、空き屋を借りたり買ったりする人が住むために改修が必要だという分に対して行う。これも該当があると考えている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 82ページ、道路維持管理嘱託職員の報酬だが、普段、色々やっているのを目にするが、夏の暑い時とかすごい重労働だと思うが、もう少し賃金というか単価を苦勞している人に上げるという考えはないか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** 報酬に関しては、現在、町で決めている臨時賃金と同じ額を出している。但し、班長だけはちょっと上乘せをしている。言ったように、仕事のきつきに対して額が少ないんではということだが、色々検討したが、額は少し少ないが安定して仕事があるということで、今のところやむを得ないのではと考えている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 確かに、それで面接の人が申込みに来るということは、仕方ないのかなとは思いますが、やはりその辺はもう少し気を遣ってもらいたいと思う。安定と言ったが、雨が降ったら出来ない。そういう意味では必ずしも安定は出来ないもので、そういう意味ではちょっと言葉が違うかという気がするが、もう少し強い気持ちで、何とか面倒を見てあげたいという言葉は出ないのか。

**委員長（土川重佳）** 総務課長

**総務課長（中川一也）** 嘱託職員等も含めて、総務課がこの辺については関与しているので答える。昨日、町長が臨時の賃金の時に答えたのが基本だ。そういうことで、今、今田議員が言った意見等も本来、町長がここにいる時に言ってもらえれば良かったが、出張でいないので、そういった意見があったことも昨日の議論と加えて、また伝えておきたいと思う。

**委員長（土川重佳）** 町長は2時過ぎから来る。後で歳入歳出全般があるので、その時にまたお願いしたい。

ほかにないか。

横山委員

**委員（横山弘藏）** 83ページ、住宅管理費の11節。修繕料が420万出ているが、この修繕の内容をお願いする。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 町で管理している住宅が 98 戸あるが、その全部の維持をしていかななくてはならない。だから場合によってはボイラーが故障したりとか水回りがおかしくなったり、換気扇が壊れたとか色々ある。各自の家の中での修繕と考えていただければいい。それを 3 年で平均した額を計上している。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 同じ修繕費、11 節で 460 万出ているが、説明を。82 ページ。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 道路の補修及び作業を行っている車等の修繕があり、これも 3 年ぐらいの平均を取っているが、道路補修と言っても色々あり、当然、場所によっては急に傷んで危険箇所も出てくるし、カーブミラー、ガードレール、路面の補修、色々ある。それを 3 ヶ年平均で出している。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 2 項 3 目だが、野崎本線の防災防除事業で 4,530 万か、昨年より大幅に増えている。落石防護柵工事が 2 箇所ということだが、どの付近をどのようにするのか伺いたい。当初の予算の理由が「安全確保のために必要である」という、たったこれだけなので、もうちょっと詳しくお願いしたい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 場所だが、港のほうから歩いて上がってくるが、その左側に大きな石があるのは分かるか。まずあの石が危険だと考えている。その石が落ちないように押さえない。それと、ずっと歩いて行って真ん中らへんの右側、右上に山の中に石がゴロゴロしているところがあると思うが、そこ 2 箇所を考えている。基本的には危険箇所ということで、上からの落石によって通行している人に被害が及ばないようにということで、今回、計上している。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） その 2 箇所だが、砂浜の上のほうに一番でかい石がある。あれはもうしたのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） その分は今回は入っていないが、皆さん見て分かるとおおり、ちょっと危険だと考えているので、候補を検討して、今後、行いたいと思っている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） その上の 13 節の委託料、350 万上がっているが、内容は、町道の維持管理のため社会資本整備交付金を利用しているの調査であると書かれているが、もう少し詳しい内容と場所を尋ねる。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） まず場所だが、町道の 1, 2 級、17 路線、18 kmを予定している。

また、どういうことをするかというと、路面のひび割れ、轍、平坦性等を調査して、今後の補修につなげたいと考えている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 17 路線というが、分からないのだが、大体の地区、小値賀町全地区なのか、そういったのが分かれば。それと委託料は、これはどこにさせるのか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** 私が今、1, 2 級町道と言ったが、1 つの例としては学校に行く、柳に行く道、あれが 1 級町道。それから唐見崎線。あれは 2 級。そういうふうな主な路線。笛吹の中の住宅街の小さい道は入れていない。そういう路線で、特に車が走行する場合、荒れていれば危険があるので、そういう調査をしたい。業者は県内にそういう調査をする業者がいるので、そこら辺を選んで指名したい。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 町道の路線については分かった。せっかく唐見崎と言ったので、あそこは落石、小さい石とか落ちてきている。そこに工事をするための帽子みたいなのを置いているが、中々、修理というか、道路補修が出来ていない。いつ頃できるのか。もう 3~4 年ぐらいになるか。そこについて尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** そのところは長年、懸案事項であり、道の上側の勾配が立っているんで、今まで中々、工法が見つかっていない。どういう工法があるかとずっと検討している。危険性もあるので、早く結論を出したいと考えているが、今後、早い時期になるべく工法等も含めて検討したいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 道路の調査とか修繕、分かったが、これに関して私が気になるのが、土川議員の牛舎の近くの長崎鼻に行く道、あれは町道と思うが、あのコンクリートの道の下がかなり抉れている。そしてガードレールなんかも設置出来ない状況で崩れているが、観光客なんかも来てあの道で転落事故が起きれば大変だと思うので、その辺、課長は認識しているか。確認。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** 今、横山議員が言った所を確認している。それで所有者とも話し合っ、今後、どういう対策があるのか話をしている。今の段階では工法というのは、まだ見つかっていない。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 私も柳地区の人から言われて見に行って確認しているが、見る限りにおいては小値賀町の町道の中では一番危険ではないかと思う。ああいう所は修繕しなくていいのか。早めに。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** まず、うちのほうで管理する分と個人で管理する分とあると思う。うちのほうで管理できる範囲内であれば行う。けれども、横の所有者等と話し合いが必要な場合、話し合っていきたい。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 自分が言ったのに関連して質問するが、ハザードマップは作っていると思うが、その中で重点的に絞っていった優先順位を付けてやるといった計画は行っているのか、尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** ハザードマップとまではいかないが、危険箇所は把握しており、浦議員の言う唐見崎のところだが、早く対策が必要であるということで把握している。

**委員長（土川重佳）** ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

**委員長（土川重佳）** 第10款・災害復旧費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

**委員長（土川重佳）** 第5款・農林水産業費 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 農業関係からどうぞと言われたので何うが、新規事業で5款1項3目、園芸ハウス長寿命化対策事業で515万計上されている。「老朽化している園芸ハウスの本体資材費用の2分の1、ビニールについては3分の1を補助し、ハウスの長寿命化を図る」とあるが、この具体的な内容の説明を。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** この園芸ハウス長寿命化対策については、3年に1回実施している事業だ。3年に1度、園芸農家のハウスに関して更新の助成をするために取りまとめて助成をしている事業だが、今回、従前はハウス本体について更新費用の3分の1を助成するというものだったが、今回、新たに本体について3分の1から2分の1に補助率を拡充したことと、今までは本体、躯体しか補助をしていなかったが、園芸農家の要望等も強くあり、ビニールに対して3分の1の補助をしようというものだ。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 本体について2分の1ということで、農家にとっては非常にありがたいと思うが、補助する対象を、いわゆる今の連棟タイプでは耐用年数が8年程度、単棟ハウスで5年程度か、以上経過したというような、具体的な規格というか条件というのはあるか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 耐用年数が8年ということになっているので、それを経過したものについてを対象にするということだ。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 本体については分かった。ビニールは、私がいた時には耐用年数が2

年ぐらいだったと思うが、これでは何年程度で補助が出るのか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** ビニールに関しては、本来、消耗品なので、従前から補助対象にしていなかったが、他県の事例等を調べた上で、今回、要望等もあったということで補助することになっているが、耐用年数については議員が言うように 2 年程度かもしれないが、実際には 5 年程度もつというふうに言われているので、そこを基準に考えていきたい。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** ビニールは確かに今のところ 5 年ぐらいもてるはずなので、よろしくお願ひしたい。次にその下の農地耕作条件改善事業というのが 175 万、これも新規で出ている。耕作条件の悪い農地について暗渠排水等々の工事がここに書いてある。遊休農地の改善だろうと思うが、その割には 175 万というのが多いのか少ないのか、私にとっては少ないと思うが、大体何 ha ぐらいを考えているのか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** まず事業費についてだが、少ないという話だが、これは町が負担する部分のみ予算化している。というのが、これは国庫補助事業だが、土地改良区が事業者になって実施する事業で、実際の事業費はこの 175 万円の倍の 350 万が事業費となり、事業個数は今のところ 13 個の予定だ。場所は、担い手公社の研修等の東側に放牧場があるが、その放牧場の更に東側の田んぼがずらっと並んでいる一帯、字で言うと市司になる。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 分かった。確かに荒廃していて、あそこをきれいにするといいのかなと思うが、これは違う集落でも必要かと思う。今後、来年以降もこういった予算計上する意向はあるか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** この事業をきっかけに、こういった耕作条件が悪い土地に関しての相談も寄せられると思うし、こちらとしても改良区を通じてアナウンスをしていきたいとおもっているので、手を挙げる皆さんがいれば予算化を考えていきたい。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 65 ページ、3 目 15 節・農産物加工場建設費 9,400 万円。それから 18 節・備品費、農産物加工場加工機械及び器具備品購入費 4,000 万。結構な額が上がっているが、町長の行政報告でもあったが、この事業についてもう 1 度、具体的な説明を、出来るようであればお願いします。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** これは 27 年度に実施しているミニトマトの集出荷場とともに、農山村活性化プロジェクト支援交付金で実施する事業だが、中身に関しては、落花

生を中心とした農産物の加工処理施設となる。内容としては、加工場を木造平屋で予定しており、208 平米、原料の集出荷作業場を、これも木造平屋で 240 平米、それと選別作業場、同じく木造平屋で 223 平米、それから干場としてのビニールハウスを AP 棟で 2 棟、77 平米という事業内容だ。それから備品に関しては、落花生の炒り機、冷蔵庫、ミキサー、マルチミル、オープン、金属探知機、真空包装機、ヒートシーラー、洗浄機、脱水機、粒形選別機、色彩選別機、乾燥機、後は事務用備品等になる。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 内容をもう少し知りたいので、資料があれば文書で後で出してもらえればいいが。口頭じゃ中々ピンとこないところがあるので。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） 指摘のとおり分かりにくいかと思うので、プロジェクト交付金の事業計画書の抜粋したものを提出したいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） これは国庫支出金で 5,640 万円、かなりの補助出資金が出ている。それに一般財源から 1,790 万円。かなりの事業になると思うが、もう 1 つ聞きたいのが、この工場の建設場所は中学校の跡地と聞いているが、それはもう決定しているのか。町長がいないのでちょっと、責任のある答弁が出来るか。分かっている範囲でお願いします。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） 旧小値賀中学校跡地で決定している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 場所の選定と決定というのは、その決定したメンバーというか、これは議会も加わっての決定か。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） 執行部サイドでの決定で、議会側は参加していない。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 小値賀町の財産を有効活用するという意味で、色んな有識者とか一般町民も加えて、こういう大きな事業は、私は検討委員会なんかを開いても良いと思う。私見だが、ああいったところは、今、町長が計画している診療所の建設とか、環境は私はああいうところは診療所に良いんじゃないかと思う。塩害も受けにくいし、土地の面積も十分あるし、それからどこの地区からも車で来やすい。そして、こういった加工場はどっちかと言うと海に近い方が良いと思う。排水とかごみの問題とか色々あると思うが。良い環境の場所はこういう加工場にするのは、私は一町民としても大変もったいない気がするが、町長がいないのでちょっと議論出来ないが、その辺は担当者としてどのように考えているか、意見を聞かせてほしい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） この加工場の場所の選定については、私も知り得る限り

で答えるが、当初は斑の学校跡を利用しようかとか、笛吹の墓の東側にある農協の用地、旧養蚕室を譲り受けて整備しようかとか、いくつか候補地について意見があったようだが、最終的に地理的な問題であるとか、用地取得費用の問題であるとか、中学校の跡地利用の問題とか、そういったところを含めて総合的に中学校跡地に判断されたものと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） もう決定して、それを变えることは出来ない状況にあるのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） 用地を今から变えることが可能か不可能かということについては、国庫補助事業でもあるし、先程提出することになっている計画書、27年度に実施する予定が予算の都合で28年度に先送りになった経緯があるが、計画書を提出しているので、現時点で変更が可能かというのは、確認してみないと正確なことは分からないが、通常考えると不可能ではないかという気はしている。

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

1:56:27

— 休憩 午前 12 時 01 分 —  
— 再開 午後 1 時 30 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

現在、審議中の加工場の件は、第3表『地方債』質疑の後に集中的に審議する時間を設けたいと思う。執行部は資料を作っておいてほしい。

ほかに質疑はないか。

横山委員

委員（横山弘藏） 69ページ、農業費の19節、スマート放牧管理事業補助金300万。スマートに放牧する仕事だと思うが、この事業の内容をもう少し詳しく説明を。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） この管理費補助金だが、現在、今年度整備している斑の西側の放牧場でハード整備をしているが、今年度末でハード整備が終了し、28年度から4年間に亘ってスマート放牧の実証事業、遠隔システムと放牧の組み合わせによる畜産経営の省力化、効率化を図るために実施するもので、予算の内容としては、放牧場とかシステムの管理にかかる人件費、通信料、燃料費、水道光熱費等、消耗品とか種子代といったものになる。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） そのスマート放牧の管理費に殆ど当たるとのことだが、そしたらここに放牧する畜産農家は、母牛とともに子牛も一緒に放牧するのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） スマート放牧事業は、母牛の周年放牧に対する実証テストであり、その放牧場で生まれた子牛は管理牛舎、別の牛舎に移して育てることになる。

なので、周年いるのは母牛だけということになる。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） そしたら畜産農家は誰でも利用できるということか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） この事業は実施主体が担い手公社ということになっており、担い手公社を通じて個人の牛を放牧することも可能だ。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 何頭まで可能か。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） この事業の計画の中では一応、15頭を計画しているが、数制的というか、理論上、20頭程度まで可能ということだ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 73ページ、委託料であわび館の指定管理料が800万円ということで予定されているが、例えば野崎の学塾村の指定管理料が366万4,000円ということから比べれば非常に高い金額に思える。この800万円の算出根拠を教えてください。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） あわび館の指定管理委託料に関しては800万で予算を組んでいるが、今年度は管理運営補助という形で19節で組んでいるが、当初予算で920万計上していた。今回上げている補正予算で、250万減額で、差引で670万を見込んでいるが、この670万という数字自体が、町が直営で実施していた頃の大体の一般財源の持ち出しが500~600万円台だが、そこを基準に考えているが、今年度、25~6%ほど担い手公社の運営で売り上げを伸ばしてきている。その分、来年度に当たっても更に売上を伸ばして欲しいとお願いしている。町が管理していたベースよりも幾分大目に予算を計上している。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 売上が伸びているのであれば、指定管理料は逆に安くしていいんじゃないかと、単純に、素朴に思うが、いかがか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） すいません、説明が複雑になって申し訳ない。もう1度仕切り直して説明する。あわび館を運営するのに、販売も含めて3,200万程度を必要経費と見込んでいて、一方で販売収入を約2,400万見込んでいるので、その差額で約800万計上している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 71ページ林業費の13節・委託料、保全松林緊急保護整備（衛生伐）作業委託料244万1,000円。担当者も気付いていると思うが、小値賀の松は私が見る限り、かなり何十年間もずっと空中散布とか色んなことをやってきているが、年々、枯れていく

姿を見ている。結構、枯れたまま放置された松がある。たぶん分かっていると思うが。この衛生伐の状況について、どのように考えているか意見を伺う。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 松の被害に関しては、委員が言うように随所に見られている。長年、被害対策を実施しているが、そういった中でも中々、減っていないという状況かと思う。過去に伐採した松の未処分も随所に見られるという話だが、それに関しては27年度の衛生伐の事業において、過年分の未処理の分も合わせて処理を進めている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 立ち枯れの状態というか、葉っぱも枯れて、後はもう朽ちるだけという松も数えきれないくらい目に付く。例えば浜崎鼻でも結構ある。こうして委託料として200何十万の予算も上げているし、それなりに取り組んでいるのは分かるが、松枯れの原因というのは色々あって、一番、専門家が言っているのは、やっぱり枯れている松を倒して、根から焼却するというのが一番効果があるというのが前からずっと言われているが、空中散布というのは、ただ病気がした時に注射を打つぐらいのもので、根治するような対策ではないと聞いているが、それからするとこの衛生伐は松枯れを防いでいくのには一番効果があるということで、結構取り組んでいるが、この240万の予算で、今、目に見えている分だけでも処理していけるのか、作業員が足りているのかどうか。命よりも大切と言われる松林を、本当にそう思ってこういう予算を組んでいるのかどうか。もうちょっと力を入れないと、枯れだしたら止まらないとなっているので、これは。全滅した地域も全国で結構ある。そういう意味で、もうちょっと気を付けてやらないと、しっかり対応しないと、手遅れになる時が来ると私は思うが、その辺の対策としての予算立てはどうか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 予算が足りるのかという話だが、この衛生伐については100立米の処理を見込んでいるが、併せて、予算書の同じページのすぐ下の、ふるさとの森林づくり作業委託料を計上しているが、これは単独の予算として、別途、併せて実施していけるように予算を計上している。それと最初のほうに言った松枯れだが、被害が毛虫の場合、見た目枯れているように見えていても枯れていない場合があると専門家から聞いているので、そういったことを見極めながら対処していきたいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 枯れているのを見て、これが毛虫でこうなっているのか、別の原因でなっているのか、見ていたら、いつの間にかポキッと折れている。浜崎鼻で見ている。専門家によると、毛虫で枯れるというのはほとんどないということを聞いている。やはり枯れる時はマツノザイセンチュウが食うというか、松を枯らすのが一番のあれと聞いているので、松を監視する専門的な人というか、定期的に小値賀町全体を見て回る人というか、そういう人を毎日じゃなくても、月に1回でも若手の人を回らせたりとか、松の状況を常

日頃監視する態勢を整えて、あれは叩いたら分かる。スコンスコンと音がする。そういう、もうちょっと分かりやすい松の管理というか、態勢づくりは出来ないものか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 松を常日頃見守る、監視する人を準備したらどうかという意見だが、町の職員の中にも過去に長く林業担当している先輩もいるし、現在の係員も一定の見極めが出来ているので、その点については被害がもっと拡がって、本当に手が回らない状況だと感じた時に対応したいと思う。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** その時はもう手遅れだ。枯れてしまって、「ああ」という時には。やっぱり日頃から、小値賀の松というのは皆大事に思っているし、私もその 1 人だが、やっぱり小値賀の景観を守る上でも枯れてからでは遅いので、日頃から、枯れてからじゃなくて。もう何十年も前から取り組んでいる。津田町長時代、もっと前は新田町長時代から取り組んでいる事業なので、小値賀町の松の全体像を常に見ておく必要がある。そういう面で、松にちゃんと対応する人を設けて取り組んでほしいと思うが。毎年、何十本か何百本か枯れていっていると思うが、空中散布の事業を始めてから昨年 27 年度まででもいいが、大体、何本の松が枯れているか。今すぐは資料を出せないと思うが、何十年もやっている事業なので、そろそろその辺の数字と結果を報告してもらいたいと思うので、もし資料があったら後で提出をお願いしたい。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 可能な限り遡って確認して、資料を整備して出したい。

**委員長（土川重佳）** 松屋委員

**委員（松屋治郎）** 衛生伐で倒した木をその都度片付けないと、シロアリがわいたり、マツノザイセンチュウがわいたりして、ボロボロになったのもある。そういうところはまた別のやつが枯れるような気がする。だからやっぱり衛生伐として切った場合には、何ヶ月も 1 年も置くんじゃなくて早急に処理をするということをしていかんと、後手後手に回っているような気がする。その辺はどうか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 枯れた松の衛生伐等による処分に関してはきちんとルール化されているので、切ったら玉切りと言って、一定サイズの輪切りにして搬出して焼却処分か粉碎処分をするというルールになっているので、過去の未処分の木が残っている場合はあるかと思うが、先程言ったように、今年度も衛生伐の行う際に過去の未処分の分の処理を行うように作業を進めているので、出来るだけそういうことがないように、今後進めたいと思う。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 72 ページ、2 目・水産業振興費の 8 節、地域おこし協力隊謝礼（漁業研修生 2 名）384 万円。ほかの資料によると総額 758 万 6,000 円。これは新規の事業にな

っているが、漁業研修生2名となっている。これはもう予定している方がいるのか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** これから予算が通ってから、公募等をかけていきたいと思っている。現在決まっている方はいない。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 今の小値賀町の漁業の実態を見ると、この新規事業は遅きに失したみたい、もうちょっと早くにこういうことに取り組んでほしかったが、やっと出てきたなという感じがする。後継者対策が漁業に関しては特に遅れていると思うが、もしこの予算が通れば期待をして見守りたいと思うが、この758万6,000円の予算の中に、例えば生活費とか研修費とか、そういった、もしこの予算が通って研修生を育てる時の事業内容とか、もう少し具体的に説明をお願いしたい。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 地域おこし協力隊の研修内容だが、まず研修の機関が、現在の県の補助制度を活用しているが、2年間ということになっているが、最初の1年をこの地域おこし協力隊制度を使って、残り2年を本格的な漁業研修期間に充てて、なるだけ研修希望者が町に定着していけるようにしたいと思っているが、事業費の内容に関しては、報償費、ここに協力隊としての給与を組んでいる。それから研修を受け入れてもらう漁業者への謝礼もこの報酬の中に組んでいる。それから需用費で作業用の消耗品をいくらか、10万ずつほど組んでいるが、あとは役務費で健康診断手数料だとか19節の負担金及び補助金で住宅費の補助、小型船舶免許が必要になってくるので、その受講に要する経費の補助、研修会等へ出かけるための旅費補助を予算化している。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 漁業の推進する漁業集落再生事業か、あれは結構な予算があるが、あぁいった予算を後継者対策に流用できないのか。もっと手厚くという意味で。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 離島漁業再生支援交付金については、27年度から第3期対策が始まっていて、5年間実施されるが、その第3期対策で制度が変わり、漁船のリースが可能になっている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 先程の心得の答弁の中で、この議会が通ったら漁業研修生を募集すると言ったと思うが、小値賀町のホームページを見ると、現在、地域おこし協力隊漁業研修生2名というのは入っている。しかも受付期間が3月25日までだ。あと何日もない。これは何かすごく齟齬があるというか、これについて答えてほしい。

**委員長（土川重佳）** 総務課長

**総務課長（中川一也）** 地域おこし協力隊については、特交措置もあり募集経費も出るといふことと、地方創生の繰越予算等も余っており、そういったU・Iターン関係の事業を消

化しなければならないことが 1 点。それと、募集をする時に、本来であれば今言った漁業研修生とかの項目を抜いて、従来の特産品開発とか観光とか、今、要望がかかっている分で欠員が出たところか、そういうところの募集が主な目的だったが、その一部についてはもう原稿が差し替わっていて、今言った新年度の分がちょっと入っていたかなと思っっている。それは総務課サイドでやっているものなので、産業振興課の答弁とはちょっと食い違ったかと思うが、申し訳ない。

**委員長（土川重佳）** 松屋委員

**委員（松屋治郎）** この地域おこし協力隊の予算について、あちこち色々ある。色々な名目であるので、一括して何か資料をもらえないか。

**委員長（土川重佳）** 総務課長

**総務課長（中川一也）** 松屋議員が言うように、今、相当数入っているので、地域おこし協力隊についても整理して渡したい。一部についてはこの主要事業のほうにも、地域おこし協力隊事業が入っているの、その分で漏れがあったら追加したいと思う。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 今の質問に関連してだが、地域おこし協力隊の研修先謝礼が 200 万出ているが、研修生が 2 人ということは、これは研修先の 2 軒ということか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 受け入れ先が 2 軒ということではなくて、協力隊を 2 名募集、確保したいが、その協力隊 1 名にかかる研修先の漁業者に支払う研修予算を各 100 万ずつ予定しているということだ。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 前に戻る。67 ページの負担金、補助。これの下から 6 番目、イノシシ対策の電柵ソーラーか、これはどこに設置するのか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** この予算については、どこに設置するというのではなく、自前で電柵を整備したいという方に補助金を交付するというものだ。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** どのくらい、例えば、1 人でこのくらいということはないだろうから、大体どのくらいを頭に描いているのか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 電柵は一式で十数万するが、ソーラー本体、電線、ポールとか。しかし今回の補助はソーラー本体の購入費について補助をしようと考えている。予算上は 20 名分を予算化している。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** その下の多面的機能支払交付金。これが 26 年度が 240 万ぐらいだったのでだいぶ増えているが、これは 27 年度の 1 号補正の時に 726 万 4,000 円補正されており、

合わせればこの金額になる。その時間けば良かったが、その時分からなかったので、ここで増えた理由を尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** この制度は、27年度から集落単体ごとの活動に加えて、うちは該当集落が11集落あるが、その11集落全体で広域協定を結んで、農業施設の長寿命化対策に取り組めるようになってきている。それを今年度は補正で計上しており、今回、28年度においては当初から743万2,000円分計上しているのです、その差額だと思う。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 長寿命化と言ったが、どんなものか分からないので、すみませんが。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 長寿命化の内容だが、農道の路面の補修とか側溝の補修といった、どちらかというハード施設の老朽化に対応する予算だ。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** それは分かった。別に前のほうでイノシシのやつを聞きたいが、捕獲頭数が100万の予算が計上されていたが、1頭1万だから100頭かと思うが、それはそれとして、この前実施した犬を使つての捕獲といったのは、計画の中にあるのかないのか。なければ、今後どうするのか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** イノシシの捕獲に関しては、委員が言った2月の頭に猟犬と猟銃を入れた捕獲を実施しているが、28年度にも同等の予算を計上している。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** イノシシの問題が出てきたのでひとつ伺いたいが、ここに書いている鳥獣被害防止対策事業がある。826万3,000円。前年度313万5,000円と比べるとかなり多くなっているが、この中にそういったイノシシの屠殺、駆除等も入っているのか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 有害鳥獣被害防止対策事業の800万の予算ということで、去年の当初予算よりも500万ほど増えているが、その理由は去年27年度の補正において2名の見廻り隊の雇用を行なっている。その関係で、去年の当初予算と比べて大幅に増加している。増加している部分は賃金や需用費、役務費、共済費などが上がっている。それと、先程、浦委員の質疑に対して答弁誤りがあったので、訂正させていただく。イノシシの猟銃、猟犬による捕獲の予算については、町で予算化するのではなく、県北の鳥獣被害対策協議会の中で予算化されることになっている。すみません。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 有害鳥獣被害防止対策の中身についてだが、2名の見廻り隊の経費だと言ったが、今後、それ以外にワイヤーメッシュの購入とか、昨年行った電柵の購入とか、先程は個人に補助をするということだったが、役場でも購入して配付するという考えはこ

の事業には入っていないのか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 電柵の購入に関しては、言ったように今回の予算で計上しているのは、個人で購入する方への補助だ。今現在、小値賀町の鳥獣被害対策協議会で50数機の電柵を保有している。28年度もまた被害が当然予想されるが、当初においてはその分に対応する。既存の持ち分の貸し出しと、個人への購入補助で対処したいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 既存という、今あるやつを今後もするというので、新たに購入することはないか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 鳥獣被害対策に関しては、先に述べた約800万の予算とは別に、イノシシの進入防護柵の設置事業を28年度も実施するようにしているが、そういった中で、もし私たちの予想以上に需要が見込まれる場合には、この事業の中で計画を一部変更するとして対応したいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** ありがとうございます。去年、確か我々も使ったが、使った後、1回返して下さいと言われた。畑の方に使うからということだったので、そしたら今度田をする時にはないかもしれないという話もしているが、そういった関係で新たに購入したほうがいいのかなと私は思うが、いかがか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 28年度もワイヤーメッシュの整備を推進するようにしているが、産業振興課の考えとしては、先程、電柵を協議会で50数機保有していると言ったが、管理するのにも限界もあるし、一方でワイヤーメッシュの整備もまた一歩進むということを考え合わせて、特に今回は新たな協議会持ち分の内か購入予算は見込んでいない。先ほど言ったように、どうしても必要ということであれば、一部、事業計画を練り直すことも考えないといけないと思っているが、基本的にはその50数機の電柵で、更に広めに皆で協力しあって段地を囲んでもらうとか、そういった対応をお願いしたいと思っている。

**委員長（土川重佳）** ほかにないか。 末永委員

**委員（末永一朗）** 73ページで藻場再生のが色々出ているが、事業として何か分かりにくいので、どう、例年どおりやる予定にしているのか、説明を。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 藻場再生事業に関しては、基本的には例年どおり、今まで実施してきたことについては実施したいと思っている。加えて、委託料で潜水費用137万6,000円計上しているが、これは新たに六島の旧漁港、それから過去に県営事業で設置されている藻場礁について、網囲い等の、港の場合は網仕切りだが、そういった対策が取

れないか調査を実施するようにしている。それとアマモの関係予算だが、今回は当初予算の計上はしていない。理由はここ 4~5 年続けている中で成果が全然出ていないというところで担当者も悩んでいるが、その原因がどこにあるかすら分からないという状況で、種が悪いのか時期が悪いのか、水深が悪いのか底質が悪いのか、何も分からないという状況なので、以前から旧知の方で瀬戸内の藻場研究所に藻場干潟の専門家がいるので、その方をお願いして 4 月に来島してもらおうので、現場を見てもらい、状況を分析してもらって、その上で出来ることがあれば改めて予算計上をお願いしていきたいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 75 ページの委託料で漁港台帳作成業務委託ということで、多分これは漁港整備法の中に定められている漁港台帳だと思うが、これは新しく作るのか、それとも既にあるものを例えば電子化するとか、そういうことか。内容を教えてほしい。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** これは台帳の電子化を予定していて、小規模漁港、大島、藪呂木、及び六島、野崎の漁港が小規模なので、その台帳を整備して、大島、藪呂木については浜津漁港と、六島、野崎については前方漁港と、1 つにしたいというための整備でもある。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** そうすると浜津は既にあるということで、それに併せて浜津ということで完成するということか。

**委員長（土川重佳）** 建設課長

**建設課長（蛭子晴市）** 浜津と前方については既にデータがあるので、その近くの小漁港を合併するということだ。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 先程、藻場の説明があつて、4 月に専門家を呼んで検討してもらおうという話だったが、当町で海に潜って現場をよく知っている、この 4 月には転勤するということだが、永井理事の現場を見た目から藻場再生について意見を伺いたいと思うが、よろしく願います。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課理事

**産業振興課理事（永井克宜）** 2 年間こっちで現場を見せてもらって、思っているところを述べる。藻場の衰退は環境の要因とか色々言われているが、はっきり言って中々難しいというのが率直な感想だ。やはり地道に、今回、六島の漁港とか既存の藻場礁を再利用して、色々囲ったりしながら藻場を地道に増やしていくとか、あるいは外部からの力を借りながら、例えばボランティアダイバーでウニ駆除をしながらとか、漁師を巻き込んでスキューバのライセンスを取らせてするとか、そういうのは私が来る前からしていることで、良いことだと思うし、そんな感じで外部の力も利用しながら地道にやっていくしかないというのが率直な感想だ。

**委員長（土川重佳）** ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 農林水産業費の質疑を終わる。

2:49:25

(農業委員会、建設課退室)

— 休憩 午後 2 時 21 分 —

— 再開 午後 2 時 25 分 —

委員長(土川重佳) 再開する。

#### 第6款・商 工 費

今田委員

委員(今田光弘) 78 ページに街並み景観保全事業、すずらん灯ということで、確か言っていたと思うが、現在の状況を見ると、やはりやり直しというか更新も必要かと思うが、一方で、やたらと明るすぎるところとか、少し浮き上がっているかなというところも感じるが、その辺の明るさ等、もう少し抑えたほうがいいかとも思うが、その辺の中身については考えがあるか。

委員長(土川重佳) 産業振興課長心得

産業振興課長心得(中村慶幸) この事業に関しては、実施する団体、商工会と商業組合と希望する団体で、総務課も一緒になって、夜間にすずらん灯の状況を見て回ったが、事業に関しては既存の施設をそのまま、場所については更新するという内容で、委員が言う明るさに関しては、今回、LED に整備する予定なので、決まった点に関しては以前よりも明るくなるかもしれないが、明かりの拡がりという点では少し絞れるのではないかと思っている。

委員長(土川重佳) 末永委員

委員(末永一朗) 80 ページの、昨日先走って聞いてしまって申し訳ないが、この民泊の補助金のことだが、大体昨日説明を聞いて分かったが、現在、民泊をしている人は対象外になるのか。そこら辺の説明を。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) この件については民泊部会とも話をして、色んなニーズ調査を行っている。基本的には今、民泊をしている方も対象として行いたいと思っている。

委員長(土川重佳) 宮崎委員

委員(宮崎良保) 79 ページ、五島列島おもてなし協議会負担金というのが新たに 367 万 5,000 円計上されている。「キリシタン物語」という着地型旅行商品を核として個人旅行客の誘致を目的とすると。地方創生の趣旨にかなった良い事業と思うが、この内容の説明をお願いします。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) 五島列島…五島市、新上五島町、小値賀町と 3 自治体が一体となって取組む事業であり、特に世界遺産の絡みもあり、教会巡りみたいな旅行客が増えるで

あろうということで、おもてなしのレベルというか、そういったものも含めて同じように協議をしながらやっていこうということで、五島振興局も一枚噛んで取り組む事業だ。内容的には着地型の旅行商品の販売、それからお客様の満足度調査といったものをきちんとデータを取るということで、アイランドツーリズム協会と一緒にやっていくというところだ。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 分かった。これからの観光の中ではすごく重要だと思うが、そのすべてが一般財源になっている。国や県の補助金等の申請はなかったのか。

**委員長（土川重佳）** 総務課長

**総務課長（中川一也）** 全体事業費は 3,500 万円程度の事業で、県の補助金が入って、残りの自治体の負担で五島市と新上五島は 700 万程度、小値賀町はその半分程度ということだ。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 今の内容だが、五島市と新上五島町では平成 27 年度から既にこれは始まっている。そういう意味では後から入って行く小値賀だが、例えばパンフレットとか何とか作り直しになると思うが、かなりの金額になるので、やはり一緒にやった方が有利だという判断だと思うが、その確認を。

**委員長（土川重佳）** 総務課長

**総務課長（中川一也）** 実を言うと行政的なこともあり、長崎県内で同じ五島なのという議論が県庁内であっている。そういうことで、小値賀町自体は県北振興局が県の出先なので、どうしても宇久・小値賀・佐世保という 1 つのグループだが、地理的には五島じゃないかという話もあり、特に今回の世界遺産に関しては教会群ということで五島を一体的にというアドバイスもあり、そういう呼びかけがあった中で、やっぱり下から上がってくるお客様の層というのが今後想定されるので、一緒にやっていくことになる。なお、この経費の中でアルバイト、パート等の人件費もみれるということになっているので、観光の現場のほうを手厚く対応しなければならない状況なので、一緒に取り組もうということになっている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** その影響を受けて、その上の佐世保・小値賀観光圏整備事業が昨年より減額になっていると思うが、そういうことか。

**委員長（土川重佳）** 総務課長

**総務課長（中川一也）** これはまた県北との、佐世保市との関連で、これも小値賀は結びつくが、これについては町内の観光施設等の維持補修の部分、魅力アップということになるが、魅力アップのための事業についても観光圏事業で取り組める。それで取り組めば 6 割補助と財政措置もけっこう大きいので、その中で取り組むハードに近い整備事業の事業費に応じて、取り組む内容によって若干、変わる。そういうわけで、事務費自体は例年と

変わらないが、小値賀町が取組む事業、例えば去年は失敗したが、観光バスを買うという事業とか、そういうハードの部分の事業費の変化で去年よりも数字が動いている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 79 ページ、15 節の工事請負費 4,300 万、野崎島ビジターセンター建設工事。このビジターセンターの具体的なイメージ、建設する形とか、どういった物を想定しているのか、分かっていたら説明を。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 27 年度の補正予算でちょうど事業を検討中で、大雑把な言い方だが、木造平屋の 10m 角程度、まあ若干、11m12m、その辺も含めて、それぐらいの大きさの施設を造ろうと考えている。場所は町長の説明でもあったが、港周辺の町有地を考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 大体 10m 四方の木造の 1 階建で、11m になるかもしれないということだが、内部構造というか、どういった受け入れ態勢を考えているのか、そこも分かっていたら説明を。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 併せて説明するが、トイレ、待合所、それと管理人の受付スペースとちょっとした販売スペース、野崎の情報を発信するブース、パネルを展示するような場所、等というイメージだ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 外観というか、今から設計とか入って来ると思うが、野崎に合った、例えばログハウス風にするとか、そういうイメージはあるか。

（マイクなし会話「全然ないか」とか）

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 観光窓口の業務委託料ということで、79 ページの上のほうにあって、今までは年間 140 万円ぐらいだったのが、今度から 400 万円ということで、もしかしたら世界遺産に指定されるということが前提で金額を増やしたのかと感じてしまったが、この金額が妥当であるかの根拠を教えてください。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 観光窓口については、1 年 365 日対応、メールや電話の受付もしてもらっているということで、会社のほうでもあったし、利益でやっていくということで委託料も抑えていたところであるが、前の 140 万が妥当な金額かという点で非常に厳しいものがあつたらしくと考えており、そういう面では委託料を相手と話し合う中で、1 人分の人件費相当と考えて出している。365 日というと、2 人がしょっちゅう付いていく必要はないが、1 人では回らないと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

浦 委員

委員（浦 英明） 79 ページの補助金の上のところ、ツーリズム EXPO への出店負担金とあるが、50 万円、この内容を尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） これは教会群とキリスト教関連遺産の関連事業で、県の観光連盟と構成市町で観光宣伝隊をやるということで、これはちょっと計画が狂ったので、県のほうに「ないんじゃないか」という話をしたが、「予定どおり観光連盟としてはやりたい」ということで、小値賀町の負担金が 50 万円必要になって計上している。観光宣伝隊というか、全国に向けて観光宣伝隊を送り出す格好になるかと思う。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 50 万だから少ないだろうとは思いますが、大体何名ぐらいとか、東京に行くとか、そこら辺が分かれば尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 東京のビッグサイトで 9 月に予定しているようだ。町から誰が行くとかの予算がここから出るわけではなくて、これはあくまでも本部に対する負担金ということ。

委員長（土川重佳） 商工費、ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 商工費の質疑を終わる。

3:11:15

（東日本大震災 5 周年追悼黙祷）

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

— 休憩 午後 2 時 47 分 —

— 再開 午後 2 時 55 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

### 第 9 款・教 育 費

浦 委員

委員（浦 英明） 89 ページの備品購入費、一番上のほう。大島分校、小学校、これがあるが、内容の説明は電子黒板が 4 台とフロアスタンドが 4 台ということで書いてあったが、その上の方、本校の方の備品購入費、大島の備品購入費 5 万 9,000 円と 20 万 6,000 円の内容について尋ねる。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（田川幸信） 本校の備品については、デジタルカメラが 3 台、デジタルビデオカメラが 1 台、CD ラジカセが 1 台、児童書関係で 50 万が本校の方。分校については、CD ラジカセが 1 台、授業用で使う時計の模型が 1 台、それと重い荷物を運ぶ台車が 1 台、体育の授業で使用する一輪車が 2 台になる。

委員長（土川重佳） 浦 委員

**委員（浦 英明）** 耳が悪かったのかもしれないが、20万と行ったか、50万と聞こえたので、もう1回尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** すみません、教育振興費のほうを説明していた。浦議員の質問は学校管理費のほうで、大変失礼した。本校については、保健室の鉄製ベッドが昭和56年購入で古くなっているの、これを1台。それと校長室の両袖机が昭和45年購入のもので、これを1台ということだ。分校は、嬉しいことに新1年生が2名おり、低学年のSFサイズの机と椅子を2名分購入予定だ。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 小学校、中学校とも水道光熱費が、小学校は11節の需用費で光熱費190万。中学校は中学校でまた出ている。162万出ているが、私の勉強不足かもしれないが、合同校舎で水道光熱費は別々に出てくるようになっているのか。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 校舎については按分している。それと、それぞれ別に体育館があるので、その分いくらか差が出ると思う。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** それから修繕料、中学校が67万1,000円。小学校が160万余り出ている。新しい校舎なのにどこを修繕するのか。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 小学校及び中学校の修繕費の質問だが、小学校については修繕料の中で、毎年体育館のワックスがけの分を、これは小・中、それと町立体育館、同じ時期に来てもらってやるやつと、あとは一般機械・備品等の修繕があった場合に備えた予算計上だ。中学校においては、体育館の出入口3箇所あるが、戸車が壊れており、非常に開けられない、施錠するにもしにくい状態なので、体育館の出入口かれこれと、先程言ったワックスがけ、それと一般機器の何かあった時の修繕料ということで組んでいる。学校関係費については大島分校が含まれるので、分校の分を説明する。分校の体育館が昭和51年の7月完成だが、体育館ステージの中幕がボロボロの状態、今は撤去している。その中幕を取り換える。それと、1月の25日か、大雪が降った日に暴風雪で体育館の棟部分がはがれて、そのまま途中で止まっていたから良かったが、民家に落ちる恐れがあるので、今、応急処置をしている。その分が急きょ修繕料が入って来て、今回、予定している。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 1項・教育総務費、87ページだが、15節の工事請負費で西町の教員住宅を建設するということだが、現在、教員住宅が何戸あるのか。そして何戸入居、というか戸数をお願いする。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 学校の下の中村教員住宅がA棟が5世帯、B棟が5世帯、古くな

っている C 棟が 4 世帯。それと昨年度改修した松香丘住宅が 2 世帯。以上が教育委員会としての町営住宅なので、16 世帯分。今度の工事についてだが、今回は 8 戸を建設予定だ。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** そうすると先生 8 人分、増えるということですか。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 一応、8 戸増えて、その後 29 年度で昭和 51 年に建てている C 棟の解体を予定している。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 91 ページの小値賀中学校費の中の 18 節・備品購入費ということで、先程、小学校でもちょっと触れていたが、ICT 機器ということで、説明書を読むと無線 LAN が 2 箇所プラスタブレットが 25 台で、今、全国的にタブレット導入ということが言われているが、高校生からでもいいのではないかと。中学生では使いきれぬのかとか、あるいはタブレットの機械の信頼性とか、中々うまくいっていない状況もあるようだが、その辺について考えを聞かせてほしい。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 中学校費のタブレットについてだが、タブレットを今回 25 台設置するようにしている。これは学校校舎の建設当時からタブレットを使うことを想定して、各教室にそのような対応の処置を取っている。それと平成 27 年度において、長崎県の全小中学校の全クラスにタブレットを設置している。これは長崎県で 70%を超える公立小中学校の設置率になっている。学校の先生方は定期的に異動してくるが、先生方は前の学校でタブレットまたは電子黒板等を通じた教育をしていく方が殆どだ。その教育効果も実証済みなので、高校からでもいいのではないかとということだが、そういった ICT 機器の推進による学力の向上、指導力の定着等が県の方針でも示されているので、28 年度対応したいと考えている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** その所で質問するが、この 426 万 6,000 円。これを 25 で割れば約 17 万円となるが、そのくらいなのか、確認のため尋ねる。それとその上の備品購入費 129 万 3,000 円。これについても尋ねる。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 1 問目のタブレットに関する件だが、25 台購入だが、各教室に既存の LAN の施設は建設当時に行っているとさっき話したが、小学校側と向こう側に並んでいる中学校側に、2つの接続ポイントとしてアンテナを 2 箇所建てるのもこの中に含んでいる。このほかの中学校の備品購入費の質問だが、職員室のパソコンサーバーが 1 台、体育館の放送機器のワイヤレスシステムが修理不能なので、ワイヤレスの新規、それと草刈り機、カラープリンター、小学校費でもあったが、同じ年度に購入している保健室のベッド、体組成計という、これは体重計で脂肪度も分かるような体重計だが、それと学校給食が 27 年

度から始まったことで歯ブラシの保管庫、ノートパソコン 2 台、そのほかにタブレットということになる。タブレットは 1 台単価 9 万円の予定だ。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** タブレットを購入して、子どもはそのタブレットで何を勉強するのか。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 何を勉強するのかという質問だが、今回の購入に当たっては、ICT 機器の購入について、中学校は小学校と違って教科担任制なので、各教科の先生方にタブレット端末を導入する場合の教育効果、教育の指導というのを提出してもらっている。これを全部読み上げると長いが、例えば数学等についてはグラフであったり三角形の形状であったり、そういったものをアップして見ることも出来るし、それから移項状況等も見れるようなのを考えている。例えば、全部は言わないが、理科の観察実験で写真を撮って、その写った写真を学級で共有することが出来ると。それから星座表のアプリを入れて、一同にそれを見ながら、パソコンと違って拡大もしながら、など、多数の教育効果があると理解をいただきたいと思う。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 今の使い方ということで良く分かったが、穿った見方をすると、例えばグループで学習、みんなで意見を出し合う時に、タブレットに偏ってしまって、あまりグループ間の生徒同士の会話があまり成り立たなくなっているという弊害もあるようなので、その辺はもちろん考えての導入だと思うが、その辺の確認をお願いします。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 県の学校教育担当課長会議等も出て、ICT のマイナスの面も、今田議員が今言ったようなことも述べられていた。そういった時のタブレットの使い方については、グループで 1 台を共有するとか、あるいは現在、中学校には電子黒板もあるので、そういったものに班ごとの映像を流すとかいうことでの教育効果を求めたほうがいいというような指摘もあっている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 前にも一般質問で話したが、いよいよ子どもがコンセントが無い所には行きたくなるような時代が来るのではないかと私は危惧しているが、この電子機器というのは確かに便利、色々調べるのにも便利で、そういうのは私も分かるが、そういったものにばかり頼っていると、書物に触れる機会がますますなくなって、自分で努力して辞書のページをめくったりする作業を中々しなくなるかと思うが、そういう意味においては、学校の先生もあまり電子機器がオールマイティみたいな教育を、そういうところを注意して、教育委員会もそういうところは気に留めながらそういった勉強をさせてほしいと思うが、教育長、どうか。

**委員長（土川重佳）** 教育長

**教育長（吉元勝信）** 実は先月、佐賀県のみやき町というところに ICT 関係をよくやって

いるというところに視察に行った。そういう中で、やはりご指摘のような部分もデメリットとしてあるようだが、メリットとしては、子どもたちの、タブレットを1人1台配ることで、集中力が増してきたという話があった。それと、野外に出て写真を撮ったり色々な観察をする時に、タブレットがかなり有効だという話もあった。実際に視察した時には、自分たちで動画を撮りながら、それにストーリーを加味しながら映画みたいなのを自分たちで作るということをやっていたが、グループ内で話し合いながらするとかいうことは、子どもたちはすぐ慣れるということで、佐賀県自体も殆どがタブレットを入れながら推進しているということだった。そういうことで本町も、校長先生たちに話を聞くと、やはり色々な形で教育環境が本土と比べると少し落ちるということで、少しでも、離島でもできるような教育環境の整備は、町としても積極的に取り組んだ方がいいという考えもあるし、先生方もそういうツールを利用しながら一生懸命教育水準を上げていきたいということなので、デメリットの部分には十分注意しながら推進していきたいと考えている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 本当にメリットのほうが大きいということで、それは進める方が良いと思うが、実際に同じ佐賀県でも、確か武雄市だったと思うが、中学校にタブレット、あまり性能の良くない物を入れた結果、授業が始まってタブレットが全員立ち上がるまでに何分もかかるようなこともあったようで、さっきちょっと聞こえたが、入札で金額はもちろん下がると思うが、どうせ入れるのであればやっぱりしっかりしたものを入れないと、そんなことになってしまうかと思うが、いかがか。

**委員長（土川重佳）** 教育長

**教育長（吉元勝信）** そこら辺については、十分、学校とも調整しながら教材に有効な機種を選びたいと考えている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 98ページの社会教育費の18節・備品購入費。図書購入費で300万が計上されている。長崎県でどうなっているのかちょっと調べたが、県内に公共の図書館が38ある。その中で集計を取ると、実は小値賀町の蔵書数が人口1人当たりに対して20冊以上ということで、県平均の4倍を超えているぐらい本がたくさんある。それに対して貸出しの数が1人当たり7冊ぐらいと、もちろん県の平均よりは高いが、そう高いほうでもない。蔵書はたくさんあるが、あまり貸出しがされていないという状況が読めると思う。県の中でも図書というのは、お互い他の図書館からも貸出しが出来る状態になっていると思うので、本当にこれだけお金を使っていいのか、という反面、逆にこれだけ予算があればもっと貸出しを増やすような努力が必要かと思うが、いかがか。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 27年度はまだ実績が出ていないが、26年の実績で言うと、町民1人当たりに対する蔵書冊数の割合でいくと19.83冊になる。それと、1日当たりの貸し出し冊数平均が約60冊で、現在の蔵書冊数は約5万5,000冊ある。昨年度、小・中学校図書室

に図書システムを入れているので、そこの連携も徐々に図られてきているので、貸出冊数は右肩上がりになっている。貸出冊数を増やす施策というのは、現在、月 1 回発行している公民館だよりも 1 ページ丸々として新刊コーナー等を設けている。また図書室に入っただけのところに新刊紹介かこれ新しい本の紹介、それと利用者が読みたい本のリクエストコーナー、またそれに伴う長崎県立図書館と佐世保市立図書館との連携のオンラインも引いているので、そちらからの無料貸し出し、要するに送料のかからない貸出し線を引いている。そういったところの広報活動には努めているつもりではあり、今回も継続して利用しやすい環境づくりに努めていきたい。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 8 項の保健体育費、100 ページ。15 節・工事請負費。総合運動公園グラウンド改修工事 1 億 7,810 万円、その中には総合運動公園テニスコートの人口芝張替工事も入っているが、最近の公共事業ではこれは結構大きい金額になっているが、当初から私は、グラウンドの目が粗くて、こけたりすると擦りむくような、あまり良くないなといったも思っていたが、そしてあそこは風が吹く度に巻き上がって、表土がどんどん取られていって、改修した後にもまた同じ現象が起きるのではと心配しているが、その辺の対策は考えて今度の改修工事をするのかどうか、その辺の説明をお願いします。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** グラウンドの表土の飛散に関して新しい工事での対応はという質問かと思う。27 年度の補正予算で設計委託料を計上する際にも説明したかと思うが、一番上の泥は真砂土という泥だが、今回、ポリマー凝集剤とかいう薬品があるそうで、それを真砂土と配合して表土材として使用する。そのことでかなりな飛散が防げるということで、その辺は特に一番こちらも要望をして、水で流れることもだが、乾燥して風が吹いて飛ばないように、何とか方法がないかというのを強調して、そのような回答をもらっている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** グラウンドの周りにもっと植樹をして、風避けをもうちょっと強化したらいいと思うが、どうか。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 多目的グラウンドの飛散については、ここ 1 年で始まったことではなくて前から気にしていたが、小さい木ではちょっと太刀打ちできない風で、出来れば大きい木なら植えたいが、生育年数を考えればちょっとどうかなということで、今回、凝集剤を使うほうで対応しようと考えている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 今言った工事だが、一旦、現在ある表土は全て剥いでしまって、入れ替えということか。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 技術的というか、設計的なことになるので、建設課長にお願いし

たいと思う。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） ただ今、測量設計していて、表層だけで済むのか、あそこは中層、下層と3層になっている。そこを今後、見極めて施工したいと考えているので、今の段階で表層だけで済むのかということは決めていない。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうなると、この金額はどこを想定してか。その1層、2層、3層のどこまでを含めたことで、とりあえずと言ったら表現が悪いが、計画しているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 1億4,000万は予算を立てる段階での、これだけは要るんじゃないかという金額だったので、仮に下層、中層が要らないことになれば、1億4,000万はかからないということになる。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） すごく気になるのは、もし一番下まで交換となった場合に残土というかがものすごい量になると思うが、それを島外に持ち出すことは出来ないと思うが、それをどういった方法でどこに処理するのかは考えているか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） グラウンドの面積が約1万8,000平米なので、×の10cmとすれば、1,800立米の量になるので、それぐらいの量であれば町の土地があるので、そこで処理できると考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 今の10cmというのは表層だけか。2層3層になるとどうか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 先程言ったように、それぞれ10cmの厚みがある。表層10cm、中層10cm、下層10cmで、3層で構成されているので、1,800立米×の3の量が出る。町としては、西目のほうにも残土置き場を確保しているので、そこら辺で処理できるのではないかと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 保健体育費の2目・学校給食費の学校給食調理業務委託料、そして下のほうにある給食食材購入費補助金とか出ているが、今の小中学生の給食で、1食当たりどのくらいの経費がかかっているのか。食材に関して。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（田川幸信） 月々で違うが、前月までの月平均でいくと、中学生で約285円。小学生で260円で推移している。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） この食材の1人当たりの金額285円、小学生が260円、これは県の平

均もしくは国の平均からすればどういう状況か。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** %までは分からないが、通常中学校が大体 260 円台、小学生が 240 円台で県の平均は推移している。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 調理する人とか学校の栄養士とか、一所懸命努力していると思うが、やっぱり島内の野菜とか米、魚に至るまで、地元の食材を利用して給食をするのが理想的と思うが、前に聞いたことがあるが、魚に関しては厳しいようだが、今後、その対策としては何か考えているのか。

**委員長（土川重佳）** 教育次長

**教育次長（田川幸信）** 地元の食材の分野では、島であって、はっきり言って小値賀産の魚を使った献立はない。今年の 6 月から初めて。こないだ小値賀食育スクールという協議会を設けており、その中に漁協の組合長とか担い手公社とか入ってもらっているが、その時に栄養士が「こういった加工をしていただければ小値賀魚も使える」と、見本を提供してもらった。しかし、給食の食材は大変基準が厳しい。特に生ものについては厳しくて、刺身、生野菜は全く出せない。熱を通す加工が必要で、今後、農産加工場も出来るが、後々は水産の加工の町内で出来れば、給食に十分使えるのに、と食育スクールの協議会でも話が出ており、今後、町の方針等もあるので、6 次産業化というの也被言われているので、その辺で対応いただいて、その分を給食で対応するという格好を取ればと思っている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 先程のグラウンドの件で質問するが、教育長には設計監理委託契約の折に尋ねたが、大きいからどのくらいになるのかなと、設計委託管理料が、次長が答えたか、1 億ぐらいか、最高 1 億 5,000 万ぐらになるのかなと思ったので、ちょっと金額的に大きいと思って、それは皆さん方に周知してちゃんと説明してください、そうじゃないと驚くからと言っておいたが、そういった内容報告というか、話し合いはしたのか。

**委員長（土川重佳）** 教育長

**教育長（吉元勝信）** 先程、建設課長からも話があったように、今、測量設計を行って事業費が大体どれくらいかというところを固めたいと思っているので、それがはっきりした段階で色んな形で周知をしたほうがいいかと考えている。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** やる時期は、町長がこの前言ったように、あれはグラウンドでレクレーションの時にマイクで言ったから小値賀の町民はほとんど知っていると思う。だから 10 月の体育祭前にすると思うが、それを逆算していけば、ちょっとそれでは遅いと思う。だから極端に言えば、後から審議するが、農産物の加工場、こういった 1 億ぐらを超すやつは、パブリックコメントといったらおかしいが、そういったことをするか、あるいは 1 年に 1 回ぐら町長と課長何人かで回って説明をする、皆さんと顔を突き合わせてそうい

ったことをすると、議会もしているんだから、そういうことをしていただければと思うが、どのように考えるか。

**委員長（土川重佳）** 教育長

**教育長（吉元勝信）** 1億以上かかるという予算で計上しているが、議員が言うように、町としても地区廻りをしたりして、色んな町の政策を説明したり、地区住民からの要望などをやはり今後、町長じゃないが、検討する必要があると考えている。教育委員会関係についても、やはりそういった町民への周知というのが色んな所で言われているので、少しずつではあるが、何か機会があれば住民にも説明できる機会を持ちたいと思っているし、PTAとかいった中でも、積極的に出席しながら、大きな事業については説明したいと思っている。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** グラウンドに関しては、利用者の意見とかそういうことはかねがね聞いているので、もう何年も前から計画というか話には上がっていたと思うが、財源的な措置も見込みがつかないし、先程ご案内のように、50周年か、切りのいいところに、こういう金額のでかい事業は何かの時の記念事業としてやりたいという考えを持っていたので、そういうことでやらせてもらう。未だに金額が固まっていないことを大変申し訳なく思うが、50周年に合わせるということで、今月中には当然、出てくるはずなので、数字的にはっきりしたことも、そうした上で、先程の表層だけにするか下までやるか、そのことも決めていきたいと思っているところだ。

**委員長（土川重佳）** ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

**委員長（土川重佳）** 教育費の質疑を終わる。

しばらく休憩する。

4:03:14

— 休憩 午後 3 時 42 分 —  
— 再開 午前 3 時 47 分 —

（全課長入室）

**委員長（土川重佳）** 再開する。

ただ今までの一般会計予算歳入歳出全般について、質疑願う。 今田委員

**委員（今田光弘）** 歳入歳出全般とはちょっと外れるかもしれないが、この会計予算の中でということで、質問させてほしい。28年度の職員の数だが、マイナス1ということで1人減ると思うが、実際、昨年僕が議員になって、色んな場面でマンパワー不足という言葉は聞いている。それは本当に見ていて納得できるが、やはり、何とか人を増やそうという努力はしていると思うが、もう少し、例えば採用の仕方を変えとか、何か方法があるんじゃないかと思うが、職員の中には本当に、自分の給料が半分になってもいいから人を増やしてほしいと思っている人も僅かかもしれないが、本当に忙しいという

のは認識している。人を増やすということについてどう考えるか。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** 確かに、採用の方法を変えるとかいうことで検討はしてみたが、中々、今までやってきたルールもある。そういうことで、実際に受験した人を全部通しているわけではない。その受験をしてもらうというのは大原則なので、その受験者がいないというのが一番大問題なことだ。それを増やす方法は、やっぱりあちこちに求人募集をするというしか今はないかと思う。ただその反面、外からばかり入れていいのかなというのも地元の首長としてあるし、そこら辺の兼合いで、結果的には成績優先で選んでいるので、そこを無視しろと言われても難しいところがあるので、今のところ小値賀町で募集したら来ないなら他所から派遣してもらうとか、そういう方法も考えながら、ここ数年を凌がなくてはいけないと思っている。新年度に入っても、方法がないか、そして再募集もずっとかけていく。1つずつ解決をしていかなければならないと思う。その面、前から技術系の職員の募集をずっとかけていたが、ようやくこの度とれるようになったし、今度新採用予定の中には、ちょっと変わった職種、保育士も男の人が来るし、もう1つは保健師、前は保健婦と言っていたが、ここも男性が来てくれるようになってきている。そういうことで、女性ばかりと思われた職場にも男性が入り込んできているし、とにかく受験をしてもらわないことには採用の手立てがないというのが現状だ。先ほども言ったが、もうすぐ再募集をかけているが、今このような時代に、退職者と入って来る人と同じでは大変だと思う。ここ何年間、福祉事務所も増えているが実質人数は増やさないでいるので、実質は減員になっているのは十分分かっているの、何か方法がないかなと考えているので、皆さんも知恵があれば、「こういう採用の仕方もいいかな」というのがあれば言ってもらえれば、私のほうからも今のルールを破るというのは、中々、ふんざりがつかないのが現状だ。

**委員長（土川重佳）** 松屋委員

**委員（松屋治郎）** せっかく町長が何か方法がないかということだが、小値賀会との交流を深めるということで、今度、予算を組んでいる。そこの中に孫ターンなんかを真剣に向こうと話し合っ、そしたら小値賀出身者ということで、いくらか安心して迎えることは出来はしないかと思うが、そこら辺に力を入れるという気はないか。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** この前からその「孫ターン」というのがあるということで、声掛けはしているが、うちの募集の仕方にも工夫がいていると思っているので、ホームページもやり替える予定になっているようだし、そこで今言う「孫ターン来たれ」というようなキャンペーンも張っていく必要があるかと思っている。

**委員長（土川重佳）** ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

**委員長（土川重佳）** 質疑なしと認める。

## 第2表、債務負担行為

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

**委員長(土川重佳) 第3表・地方債**

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

**委員長(土川重佳)** 質疑なしと認める。

先程保留していた加工場の件の集中審議をしたいと思うので、よろしく願います。

4:17:40

65 ページ。

横山委員

**委員(横山弘藏)** 先程これの審議の途中で、ちょっと長くなるようなので後回しになったが、この農産物加工場建設費に関連して、例えばこの建てる場所、金額も大きいし、スペースも大きくとるが、小値賀中学校の跡地に計画しているということは、審議過程においてここに落ち着いた経過報告をお願いする。

**委員長(土川重佳)** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得(中村慶幸)** 先程も少し話したが、加工場の用地については、斑の旧学校跡の利用、それから農協の旧稚蚕飼育場の利用、それから今現在提案している中学校の跡地ということで検討していたが、斑は距離的な問題や旧施設の耐震工事が必要であるという問題、稚蚕飼育場はスペースの問題があり、そこに収めるには周りの農地を少し潰して場所を拡げて、しかも嵩上げ等もしなければならないということで事業費もかさむといった事情もあり、位置的にも島の中央に位置している旧小値賀中学校跡地が用地造成等もあまりかからなくて適地であろうという判断に至っている。

**委員長(土川重佳)** 横山委員

**委員(横山弘藏)** この情報は少しずつ入って来て、いくらかは認識していたが、私が知ってる限り、町民と話をすると、診療所を建て替えるという話もあり、それと関連して、場所を設定する時に診療所のことでも考慮してどこがいいかという話をよく聞くが、中学校の跡地というのは非常に環境が良い所だと私は思っている。場所的にも柳にも近いし、小値賀町のどこの地区からも交通アクセスも良いと判断しているが、そういうわけで、こういった一等地に加工場を作るよりは、ここに、今から建て替えると町長も考えているようだが、診療所を持ってきて、加工場はもっと検討して、どこかほかの場所でも良いのではないかと私は考えたりもするが、その辺の決めていく審議の過程において、町の財産をどう利用するかという時には、やはり広く住民の意見も取り入れて、一番いい方法を考え出すというのが良いと思うが、個人的にはこの場所は加工場には非常にもったいないという気がするが、その辺はいかがか。

**委員長(土川重佳)** 町長

**町長(西 浩三)** 経過については課長から言ったとおりだが、我々もひとつずつ潰していったというか、現場の意向がかなりあったが、最初は斑に作ろうと考えた。色々な手続きとか進める準備をしたが、やはり課長が言ったように遠すぎるということになり、それから今度は農協が所有している稚蚕場跡、これは農協がタダでくれるかと思ったが、どう

もタダでくれる感じでなくなったので、それにさっきも言ったが造成費がかかるということで諦めた。更にどこがあるかということで、横山議員は診療所にどうかということだが、これも皆さんに諮らなくてはならないということで、今、診療所のほうの委員会に諮っているところだが、中々決めきれずにいると思う。今、埋立てしているところがいいとか色々な意見があるが、診療所をここに持っていくのはちょっと、街の中から段々遠くなるし、ほかにないから診療所という話なら別だが、診療所の適地を探す必要もあるだろうが、工場棟の利便性と、それからこれからまた拡大する可能性もあるということであれば、このほうが適地じゃないかという判断をしている。議会のほうに説明がいつ、どこでということ、我々の頭がこんがらがっていて、ここに決めましたと言ったのが去年だろうと思うが、そういうことで、今、提案があった診療所をここに建てるということはいかかなものかと、私個人は思う。利用者のことも考えると、やはり街に近いほうが、利用者が多いわけなので、ここに持っていくと、運搬手段も今以上の手段を必要としてくるので、今のところはここは加工場でやらせていただきたいと思っている。今、図面を見たが、加工場は右側のほうにくっついているが、ここは体育館の近くでもあるので、少しずらしてやって貰いたいという思いがあるので、もしやるということになれば、駐車場をこっちに設置したいと、今考えているところだ。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 課長は「島の中央だからいい」と、そして今、町長は「利便性が良い、拡大の可能性はある」と言ったが、加工場が島の中央にある必要はないと思う。むしろ隣が学校、騒音も当然、発生すると思う。あるいは出入りの車も、そう多くはないと思うが、トラックも入る。そう考えると小中学校の横というのは条件として必ずしも良くないんじゃないかと思うが、どうか。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** それも十分分かる。ただ、だからここに診療所をとというのは、さっき言ったように大変不便じゃないかと。便利も良いしということも課長が言ったが、騒音もそんなにめちゃくちゃするような工場じゃないと思うので、それと校舎とはかなり距離が離れている。防音を特別するという計画はないと思うが、私は、ちょっと意見が違うかもしれないが、そう考えている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** これを話し合うと、それぞれの意見があって、中々、纏まらないと思うが、私も議員として思うところを言わせてもらおうと、街の中がいいという考えよりも、今、笛吹の人も、患者などは殆ど車で出入りしている。遠くの方は必ずタクシーとかバスを利用して来ている。そして最近、海岸にある建物というのは危険があると再三言われている。スーパー台風が来た時の高波とか。今の診療所でも塩害によってかなり色々な障害が出ているとも聞いている。こういった大きなプロジェクトというか、これから小値賀町は診療所も建て替えるという気持ちが町長にあるのは私も賛成だが、そういった町の未

来像というか、やはり総合的に色んなことを含みながら、こういう大きなプロジェクトはやったほうがいいと思う。担い手公社の利便性だけを考えて作るというのもありかと思うが、私が見る限りこの跡地は小値賀町では一等地と思う。そういう意味でもうちょっと思慮深く考えて、色んな条件も総合的に、まあ、今の答弁ではしたような話であるが、そこにもっと町民を広く参加させて、こういう時こそ住民参加を促して、しっかり話し合った方が良くと思う。診療所はどうせ、今の場所はたぶんダメだと思うが、そうした場合に診療所の場所もまだ決まっていないと。そういったところであれば、なおさら、色んな事を併せ持って、こういうのは選定したほうがいいと思う。この方法以外に住民の声を聞くとか、住民への説明会を開くとか、もうちょっと住民参加型の話し合いをしたほうがいいと思うが、どうか。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** 確かに、そういう問題になるとは思ってなかった。病院をあそこに建てようという構想は、まだ我々が持っている構想の中にも入っていないわけだ。加工施設の建設は計画の中に入っているのだから、だからそういう考えがなかったのだから、今、横山議員が言うように町民みんなを巻き込んで、そういう考えは思いつかないで今日までできていると思うが、どうするか。別にここにこだわる必要もないというのも分かるが、工事も早くしなければいけないところもある。逆に言えば、今出ているもののほかに何か施設に使う予定があるなら、それを含めて話し合う必要があるかと思うが、今、出ているのが診療所。それ以外に何かあるか。あそこの利用方法として。どっちの場所が良いかということで、町民から意見を聞くか。上と下と。それしか方法がないのかなという気もするが、いかがか。私が答えなければいけないところだが、ボールを投げ返した格好になっているが、いかがか。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 私の議員としての意見だが、町民の声を 1 回聞いて、公聴会みたいなものを開いて、診療所はやっぱり街中であつたほうが便利と皆思っているのか、それとももっと塩害のない静かな所に建てたらいいと思っているのか。そういったところを、もうちょっと余裕を置いて 1 回話し合ったらいいかと思う。各種団体とでもいいし、広く求めでもいいし、オープンな形で話し合いの場を設けてはどうか。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** そうしたほうがいいということであれば、やぶさかではないので。ただ、それをやるのにもちょっと診療所のスペース、広さとか、そこら辺もあるんで、中々簡単に「ここでいいですか」ということにはならないと思う。我々も、診療所自体も「ここに建つのかな」という気がしている。このスペースに、診療所自体が。ここに診療所を移すと弊害も色々出てくると思うので、ちょっと準備をさせてもらわないと、中々「来月しましょうか」というふうにはいかないかもしれないが、内部で検討をさせてもらうか。そうしないと結論は簡単に出せないと思うし、そのことで少し工事が遅れるということだ

も構わないと思う。そういう話は初めて聞く話なので、総合的に判断したほうが良いということであれば、我々も内部的にもう1回検討させてもらおうということで、お願いしたい。

**委員長（土川重佳）** ほかにないか。 松屋委員

**委員（松屋治郎）** これが遅れることによって、補助金がパーになって加工場が作れないという可能性はあるのか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 遅れ方次第だと思うが、年度を超えるような状況になれば補助金交付が受けられない可能性もあるかと思う。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 西町長も、情報公開して、よくみんなと話し合っただけで決めるということは公言しているじゃないか。選挙の時に。だからこういう時こそ、遅いかもかもしれないけど、この予算委員会でどうなるか分からないが、こういった大きいプロジェクトに関してはもうちょっと情報を公開して、そういった情報をもっと住民に流して、いい結論を導き出すような政治手法を取ってもらいたいと思うが、その辺はどう考えるか。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** 分からんことでもないが、この事業自体は、ある程度皆さん了解していただいているものと、ずっと説明をしているので、ただ場所の問題については確かに、先程から言うように我々には及びもつかなかった利用方法というか、それが出て来ているので、情報公開といっても、場所の話だけで、普通にやれば別に、「いいところを見つけてきたな」と、逆に、「いい空き地があったな」と、我々とすれば利用計画がないわけだから、そういうふうに褒めてもらっても良かったかなと。まあそういうわけにもいかないだろうが、これ自体、加工場の必要性というのは、皆さんも認めているものとして仕事をしている。ただ場所の問題が、さっきから言うように、どうしたもんかなというのもあるので、それは皆さんに諮って、町民にも伺いたいと思うが。今、メモがあったが、平成27年の特別委員会の際に、伊藤、前の委員長の時代だが、小値賀中学校校舎の跡地に建設予定だというのが、平成27年のこの委員会で産業振興課長が発言をしているそうだ。そこら辺で言っているのかというふうで、我々も、あれもやり、あそこの場所も探し、ここも探し、としたもんで、皆さんに報告するのが遅れていると思うが、場所的に問題があるという指摘のようなので、然るべき団体、皆さんを集めて意見を聞いてみたいと思うが、どういう方向でやるかは内部で検討させてもらいたいと思う。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 場所については、そういうことで、僕としてはお任せするしかないが、むしろ、さっきから町長は「加工場については理解されている」という話だが、実は僕は、このA3のペーパーを貰うまでは、これには5番目に「農産物の加工処理施設を整備する」ということで、あくまでも農産物。で、ちょっと話を聞くと、建物は建てるが、担い手公社が指定管理ということになり、町民誰もが希望すれば使えるような加工場というイメー

ジを持っていた。ところが、今日話を聞くと落花生の加工場と、何かちょっと限定的になっ  
ているようだが、その辺はいかがか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 落花生が主体とはなっているが、このプロジェクト支援  
交付金の計画の中に、その他の加工品ということで含みを持たせた内容になっている。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 実際に、せっかく加工場を作るのであれば、担い手公社のために作る  
のではなく小値賀町のため、町にとって有利になるというか、島民にとって、町の予算だ  
けではなく国の税金を使っているわけなので、やっぱり島民の福祉ということを考えると、  
難しい面はあると思うが、あまり担い手公社に全部お任せではなくて町民も入れるように  
しないと、中々理解を得にくいかなと言う気がする。その辺はどうか。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** 私も今田議員の考え方と同じで、だから農産物の加工場ということで  
話をしているし、担い手公社だけ使えるということではないと度々答えたつもりだが、説  
明が食い違っているのか。課長もそういうつもりで言っているはずはないが、担い手公社  
に特定した施設ではないということは、はっきり申し上げたい。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** それは理解した。実際、この加工場の平面図を先程貰って、中々細か  
いところまで見えないが、先日貰った「自社製品一覧」ということで、落花生関係が殻付  
や剥き身、茹でピーナッツ、ピーナッツペーストと色々あるようだが、加工場を建てる場  
合には保健所の営業許可というのが必要になり、たぶん 34 ぐらいの種類に分かれてそれぞ  
れ営業許可が必要で、それぞれの項目が分かれば部屋を区切らなければいけないとなっ  
ていると思う。実際にこのチラシを見て、小値賀の中で作っているものとしても、茹でピ  
ーナッツになると、考え方にもよるが、惣菜のような部類、普通の菓子でもいいのかもし  
れないが、に、ピーナッツペーストという瓶詰製品。そういう、ある程度、違う種類の何  
種類かの保健所の許可、当然、施設のほうも分けなければいけない、変えなければいけな  
いということが、これから先出てくると思うが、その辺について、この加工場で対応でき  
るのかどうか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** この加工場は、先程、落花生が主体と言ったが、手元に  
詳細な資料を持ち合わせていないが、加工場の一部において「ちょんまか」グループが作  
っている「おっ！パイ」であるとか、お菓子の製造が出来るように間仕切りを行うように  
予定している。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** そうすると、今、「おっ！パイ」とかは斑で作っていると思うが、斑  
のほうはどうする予定か。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） 斑の加工場についても、担い手公社に管理をお願いしているが、条例においてそれ以外の方も広く使えることになっているし、実際に「ちょんまか」というグループだけではなく「みそっ子」の皆さんも使っているので、またそれ以外新たに、自分たちもやりたいというグループが現れれば、斑の加工場も使えると思うし、今度計画している新たな加工場も使えると考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 本当にそうやって町民を巻き込んだ形になると良いと思うが、実際問題考えてみると、これは加工場ということで、実は委員会でも行ったし個人でもあちこち行って、加工しているところの人の話を聞くと、特に賞味期限が長いものについては倉庫が必要だと。どこに行っても言われた、大きな倉庫が必要と。今回それがたぶん入っていない。これも先だつての視察の時に、これは水産になってしまうが、加工場に行った時に、やっぱりスペースとかそういうのがすごく必要ということを言われた。その辺はどう考えているか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） この加工場の計画の中に冷蔵庫も含まれているし、もし現在の予定で足りなくなった場合には、この空いたスペースを利用して増設とかいうことも、可能性としてはあるかと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 分かった。そもそも、色んなことを含めても、落花生中心ということで進めていくことにならざると得ないと思うが、この小値賀町の今の面積で、連作障害もかなり見受けられる落花生で、本当に採算がとれるのかと非常に心配しているが、その辺の見通しは。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） この計画の中で、現在、5.5haの作付けを現在、7.1まで伸ばす計画になっている。それと面積だけではなく収量、機械化することで管理負担を改善する中で、収量も確か157kgから190kgだったと思うが、反収で、そう伸ばすようにしているので、全体計画として確か1.3倍から1.5倍、プロジェクト交付金計画の中で、計画をしている。このプロジェクト交付金が、27年度から、本当は27年度に全て事業を終える予定だったが、この加工場だけではなくミニトマトの集出荷場の整備も一緒になっており、便益を総合して出している。その中で、便益が投資コストを上回らないといけないが、便益の数値を忘れていたが、便益は当然1以上にならないといけないので、そういう計画でいる。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 分かった。実際に、先程もちよつと言ったが、視察に行くと、業者の言いなり、例えば建てる業者とか冷蔵庫の業者の言いなりになると失敗するぞというのは、

皆さん言うし、作った後のコストがすごくかかってしまうということで、それについては難しい面もあるとは思いますが、本当に業者の言いなりになるべくならないようにやってもらいたいと思うが、いかがか。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 行政の使命でもあるが、最小限のコストで最大限の成果を上げられるように努力したいと思う。

**委員長（土川重佳）** 議長

**議長（立石隆教）** 先程、昨年の予算委員会で説明して、予定だというふうに場所の説明もしていたということがあった。予定だという場合、この土地をもとにしてこの事業は進めるんだと理解する場合と、あくまでもまだ候補の1つであるというニュアンスも含んでいる場合もある。私は傍で聞きながら、これは後者だと思っていた。従って、あそこが予定であると言ったから議会は蒸し返さないのだと思っていたら、それは大間違いだと指摘をしておく。そうではないと言っておく。1つだけちょっと分からないことがあって。今の担い手公社から中学校跡地まで車で何分かかかるか。それから、担い手公社から斑まで何分かかかるか。その差を遠いと言うか。ということが、ちょっと理解できない。でもおそらく遠いという理由だけではないと思うので、それも含めて説明を。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 実測をしていないので自分の感覚で答えるが、おそらく担い手公社から中学校跡地まで3分程度だと思う。斑までは、私は斑出身なので、10分近くかかると思うが、その差はおそらく6分ないし7分だと思う。これを近いと考えるか遠いと考えるかだが、都会の人から言わせると本当に近い良い所だと思うが、小値賀の人の感覚で言うと、島の中央から島の西の端まで行くのは遠いという感覚を持っているだろうと思っている。そのほかの要因ということだが、私の知り得る、理解している範囲で答えるが、当初、町長も言ったように、最初の候補地として斑の旧小中学校跡地の主に体育館だったと思うが、そこを最初の候補地としていたが、耐震改修に確か数千万円かかるという話があり、プラス当然、完了するまでの事業費がかかるので、遠いことプラス耐震工事で事業費がかかるプラス耐震工事しても施設自体が古いことに変わりはないので、そういったことを総合的に判断して斑を候補地から外したと理解している。

**委員長（土川重佳）** 議長

**議長（立石隆教）** 小値賀の人にとっては遠いというイメージだということだ。私はそのとおりだと思う。しかし事業を始める事業者とすれば、イメージでそれは判断しない。つまり、佐世保に自分の本社があったとする。7分の位置に土地が見つかった。そこは遠いと感じるか。片方で、2時間車を飛ばさないと空き地がないとする。そこに工場を作るとする。そこを遠いとするか。それでも土地があれば買う。それから考えると7分とか10分とかいうのは遠い感覚ではない。事業者にとってだ。小値賀のイメージを私は聞いているのではない。事業をする時に遠いかということを知っている。そうすると遠い範囲では決し

てない。それをもとにして判断が、例えば 50%あったなら、それは少し間違いだと指摘をしておきたいと思う。それからあそこは、いずれ斑の小学校を潰さないといけない。その問題がひとつある。それからグラウンドが空いている。あそこに作る手はなかったのか。耐震をしないといけないというなら、別にあのグラウンドで作るという手はなかったのか。行っても草ボウボウで、今使ってるとは思われない。斑の人たちがいつも使っているなら、きれいに整地していると思うが、掃除をしてる筈だと思うが、そうではない。あそこに作る手はあったんではないかと思うが、どうなのかということも尋ねる。これで終わるが。

**委員長（土川重佳）** 産業振興課長心得

**産業振興課長心得（中村慶幸）** 議長から、事業者として考えて感覚で言うべきではないという話だが、実際に判断の中にやはり遠いという、特に西の端なので、例えば前方の人たちとか、集荷するのに来てもらう場合とかでも遠いという判断があったということと、斑のグラウンドだけでは面積的に不足するという判断があったということだ。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** 仮定の話をして申し訳ないが、小値賀で何か加工品を作りたいという、例えば業者が町外にいて、小値賀に来たいとなった時に、じゃあどこを小値賀町として何が有利になるかという、小値賀町の土地を高く売る、もしくは固定資産税が高いところに誘導するようにする。そういう意味では、まあ一等地とは言えないかもしれないが、かなり条件が良い中学校用地を自分たちで使ってしまうというのはもったいないかなという気が率直に言っている。将来的にそういうのが来る可能性は低いのかもしれないが、その辺も考えた上での考えかどうか、聞かせてほしい。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** ここ何年かのことはある程度想像がつくが、そこから先はちょっと、想像して事業計画は立てる余裕がないというのが現状だ。確かに精密機械とか、そういう工場を建てる時には海岸よりはいいが、それよりはもう、小値賀の島自体がそういう工場には向かないと精密機器を扱うような場所ではないという話もよく聞くので、今のところそういう予定も、さっきから言うように診療所という思いもなかったもので、何番目かの策としてずっと潰して行った結果、そこが残ったということで、ほかに利用計画とすれば、住宅用地にどうかという話もあった。ただ私は、それは教員住宅の話だが、先生が目の前に学校があるのにそこに住むのは環境として良くないんじゃないかということで、それは排除した経緯がある。今のところ我々が考えられる範囲では、現在予定しているところがベターだと考えている。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** ここで場所を確定するまではいかないと思うので、ついでにもう 1 つ意見を言うておくが、ニンニク工場の跡地がある。あそこは適さないのか。ここでは決められないので、一応、そういうのもいいかなと思って言っているが、どうか。

**委員長（土川重佳）** 町長

**町長（西 浩三）** 全く偶然だが、実は昨日本人から電話があつて、ちょっと話したが、あまり要領を得なくて、電話の先ではあれだから近いうちに私が来ますよということで終わった。あそこの土地についても色々検討はしたが、上と下と所有者が違うという問題もある。岩永さんの持ち物じゃない、下は。土地は。上だけだが、中身についても昨日の電話の話では、冷蔵庫があると、そういうのも有効に使ってもらえないかという話で、それが有償なのか無償なのか、電話の口だったので話せなかったが、土地は別の人の所有なので、あそこの利用も…。ピーナッツもいずれ限界がやってくる。そんなに農地のスペースもないわけなので、だからほかの特産品も作っていかなければならないが、とりあえずはもう、ここまできて特産品になってるわけなので、もう少し量的にも確保したいし、対外的にもまだまだ宣伝はやっていきたいと考えている。先でまた別の加工品が出てきた時のためにも話は伺ってこようかなと。昨日の話だが、そういう考えを持っている。

**委員長（土川重佳）** ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

**委員長（土川重佳）** これで議案第 35 号、平成 28 年度小値賀町一般会計予算の質疑を終わる。

執行部の皆さん、お疲れさまであった。3 月 14 日は午前 10 時から開会する。7 つの特別会計予算の質疑を行う。

しばらく休憩する。

5:02:39

（執行部退室）

— 休憩 午後 4 時 41 分 —  
— 再開 午後 4 時 45 分 —

**委員長（土川重佳）** 再開する。

これまでの一般会計予算の質疑を通しての皆さんの意見を伺い、特別委員会としての整理をしたいので、順番に意見ををお願いします。 今田委員

**委員（今田光弘）** すごく気になったのは、前もって議会に示さなければいけない資料があるのかなと。今の状況でこの場で判断しなければいけないとなると、すごい難しいと思う。これは今後、変えていっていただきたいと強く感じた。自分の中ではもう少しじっくり検討する時間が欲しかったというのが実感だ。ただ全体的に予算ということで、総論というか、予算自体は賛成する。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 今について私もそう思ったので話をする。資料と今言ったが、後で貰ったこの主要事業一覧はもう少し早くもらえればなと思う。実は私は一般会計のほうについてはもう終わっていたから、特別会計をしようかと思ったら、2 日前に貰ったが、目を通す暇がなかった。出来たら早く貰いたいなと思った。あとは、地方債のところでおう

かなと思っていたが、約 4 億 5,000 万近くあった。ここ数年にないことで、ちょっと危惧したところがある。いくら良い起債といっても、辺地債も使っていたが、やっぱり債と付けば借金なので、一頃、21 年度か 22 年度ぐらいには 30 億を切ったので、それで委員長が言っていた経常収支比率か、あれも 73%ぐらいになって、これで財政指標は威張れるなどと思っていたが、ここ 3 年 4 年になって借金は右肩上がりに上がって来ている。今、見込みが 34 億ぐらいだと思う。また診療所も控えているし、色々な修理も出て来ているし、ちょっとこれは危ないな、我々議員がまた見ていかないといけないかと考えている。そういったところをひしひしと感じたものだから、極端に言えば決算に近いような感想を言っているが。それから、色々後先になるが、債務負担行為の畑総か、あれも一番利率も高くてネックだった。私も一度、これを借り変えすれば、これは地銀でも役所でも一緒だが、利率が高いから安いのに変えればと言っていたが中々しなくて。この債務負担行為もあと 3~4 回払えば終わるので、大方 900 万ぐらいで出ていたかと思う。だから安心する反面、そういったのが増えてきているので、まあ執行部のほうも馬鹿じゃないので、利口な人ばかりいるからここは考えてやっているだろうと思うが、ちょっと心配なところが、借金が増えていくのではという心配がある。今日はそれで終わる。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** ふるさと創生が声高に言われているし、人口が減って、町の活力も失われていく状況の中、確かに予算というのは厳格に使わないといけないと思うが、今の小値賀町の置かれている現状を思えば、私はむしろ起債も思い切ってやる時期じゃないかと思う。起債の内容を見ると辺地債も過疎債も大いに活用して、振興基金を取り崩して、今度の事業も色んなものが出ているが、私は、浦議員からは非難されるかもしれないが、ここでそろそろ思い切った予算も使って、これが本当に振興に繋がるなら、使っているんじゃないかなという気持ちもある。このままずるずる町の活力がなくなって、漁業する人もいなくなって、農業も段々後継者がいなくなって、そしたら、いつこの振興基金とか有効な起債をするとか、むしろもうちょっと思い切ったことをやってほしかったという気がしている。全体的に、今までの慣例というか、小出しをしながらやっていく姿勢がまだ見えると思う。予算書を見て、私たちは厳しく問うているが、本心はもうちょっと思い切った対策を取ってほしいと私は思う。はっきり言って。例えば学校存続の問題とか離島留学の問題。それからこういう加工品の話でも、国庫支出金でかなりまかなえるから、こんなちまちましたものになるが、もしやるなら、例えばカンコロの葉っぱを乾燥させる施設も作っても良いと思う、一緒に。何故なら去年のカンコロ生産は、この悪天不順でかなり捨てている。生産者は。カンコロは年々上がっている、これは間違いない。新上五島町の人に聞けば、キロ 1,000 円でも買うというぐらいの業者がいる。だからやり方によってはカンコロは儲かる。今はピーナッツとかショウガとか言っているが、もうちょっと目先の利益ばかり追求せず、診療所を建てる問題にしても、ただ町民に媚びるような、「やりますよ」というのではなく、具体的に…。具体的なことは、話してみても思ったが、持っていない。

診療所を建てる場所とか。もうちょっと住民を巻き込んで、こういう予算書もそうだが、みんなの声を広く聞く姿勢も示してほしいと思った。要点を絞れば、まずこの時期じゃないと予算を消化する時期じゃないと思って欲しいということ。町長、執行部は。今とにかく使うべきだ。このまま辛抱して町がなくなったじゃ話にならない。もう 1 つ今日審議会を感じたのは、公言している割には情報公開がしっかりしていない。私はその 2 点を今度の特別委員会に関しては実感した。

**委員長（土川重佳）** 末永委員

**委員（末永一朗）** 今回の予算は、新事業も 27 項目ある。そして 31 億 9,000 万。とにかく事業すれば借金は増える。むやみやたらに借金はしてはいけないけど、それはやむを得ない場合もあると思う。やっぱり町の活性化のためにはやることをやらんことには、ただ金を先へ先へ貯めておくばかりでも町は沈み込んでいくという感じだから、今度は加工施設の件もあるが、観光のほうで何か重点をといる予算案であるので、今度の 9 月の決算の時にどういうふうに活かしているかを見るのが楽しみでいるので、今回の予算は賛成したいと思う。

**委員長（土川重佳）** 松屋委員

**委員（松屋治郎）** 今回は大型予算、1 億以上のが 4 件ある。これはあくまでも産業振興策としての加工場であり、野崎島の施設、野崎が全体で 1 億 7,867 万、農産物の加工関係が 1 億 3,600 万ある。もう 1 つは、地域おこし協力隊を産業振興に活かそうとしている予算の枠組みがなされた。それと人口問題については、出生祝金を上げるとか、子育ての分で医療費の問題、子ども園とか放課後の、ああいう子育ての面に力を入れているということと、学校給食が、私たちは作る時に、どれぐらい赤字になるのかなと思っていたら、大体私も概算 1,000 万かなと思っていたら、その枠に収まっていたということで、ほぼ安心したところもある。全体的には、今までにない積極性は少しあるのかな。当初予算で前年より 6 億ちょっと上回っているということは、そういう考えもあったのかなと思う。地方創生、人口減少、そこら辺を意識したものと思っている。

**委員長（土川重佳）** 宮崎委員

**委員（宮崎良保）** 昨日、初日に町長が所信表明で言ったように、子育て支援にどう使うかという予算がどうなったんだろうということで、非常に期待をしていたが、子育て支援に対する予算はあまりにも小さい。やはり産業振興とか交流とか修繕料とか、そういうところばかり行って、まあ予算そのものに対して反対するつもりはないが、もう少し、あんなに人口問題、子育て支援という割には、ちょっとそういう予算が少なかったのが残念に思う。予算の中で私が一番注目しているのが、五島列島おもてなし協議会の負担金。こういった、五島列島として福江とか上五島とか、同じ教会群の中で初めてこういう協議会が出来たというのは素晴らしいことだと思う。これを地方創生の中に入れて、より一層充実させて、交流人口の増大を、小値賀だけでなく五島列島一般に呼び込めれば、もっと素晴らしいことが起きるんじゃないかと思っている。今度の主要事業一覧表をもらったが、ち

よっとがっかりしたのが、予算化の理由があまりにも大雑把だ。予算化した事業が「継続事業であるから重要」とか「継続補助事業である」とか、何のことだと、ちょっとしたことではあるが、非常に気に留めたところがある。なので、今後、我々が出前議会の時にどうこれを説明しようかと、今から勉強しないといけないかと思っている。そういったところで、相対的には賛同する。

**委員長（土川重佳）** 浦 委員

**委員（浦 英明）** 横山委員が言ったのは最もだと思うが、それに反論の格好になるかもしれないが、聞いてほしい。以前、我々が議員に通った最初の頃は、小値賀は合併しないということで、当時の県知事からは苛められたと。それで予算も中々付けられず、中期、長期計画、あるいは10年計画を出せと、1回出してもダメ、2回出してもダメ、3回ぐらい出してどうにか通ったと。私は苛められたんじゃないで、起債制限比率で引っかかったから出させられたかと思っているが、事実は分からない。何故ならば、やっぱり当町はその時は積立金も少なかったし、今でもそうだが、自主財源というか町税は1億4,000万ぐらいだ。だから地方交付税が三位一体改革で削られて、なった場合は極端に言うところ怖かったというか、そういう感じがある。だから、実際、借金はどこまでやればいいのか、そのことを考えなければいかんと思っている。私は私なりの考えで、これは間違った考えか知らないが、今、30億の事業をしているから、30億以上の借金は出来ないんじゃないか、30億以内でやらなければいけないかと考えたりもするが、しかしそれ以外にも積立金があれば、それを取り崩してもいいから使ってもいいんだと思うが。それともう1つは起債制限比率、今は実質公債比率になっているから、それも9.5~6%か、今は、結構良い数字なので、まだガンガンやれるのかなと、反対に横山議員にエールを送りたいと思うが、実質は私はそんな考えだ。基本はそういうことなので、それともう1つ、さっき言われたが、1億の事業が4つぐらいあったと。私は、町長に言ったが、これからは表通りを歩いてもらうように、私も言ったが、パブリックコメントをしないのなら1年に1回ぐらい出て行って、「こんな事業をやろうと思っています。その中でこれとこれがメインだから皆さん協力をお願いします」と言えば、中には反対もいると思うが、言われる反面、「よう来てくれたね、久しぶりやね」と言ってくれる人もいるかもしれないし、そういうところで顔見せして、話もしていかないといけないのではと。そうすれば小値賀町がどう考えているのか分かるし、議員だけ出て行ってするよりも。そしてやっぱりよく町民に説明しないとけない。全然説明していない。内容が。そう思った。

**委員長（土川重佳）** 横山委員

**委員（横山弘藏）** 浦議員の気持ちも十分分かる。私も根底は同じだ。要するに健全財政運営。これは基本中の基本と思っている。ただ、今、国もどこの地方もそうだが、結局このまま人口も減って産業も低迷していけば、小値賀がいくら賭けを賭けても小値賀町が沈んでいくばかりじゃないか。だから西町長も前任の町長も、山田町長も含めて、一生懸命健全財政を努めて、今、少しいくらか余裕がある状態に持って来たというのは、このまま

予算を消化せんで貯めてくれということではないと思う、歴代の町長も。やはりこういう時が来るからこそ、小値賀町民の堅実な性格が今まで町を持てさせたと思う。そして地方創生の一番の目指すところは、いかにこの町を維持できる町としてあなたたちはどうするか、というのが一番のメインだ。人口を増やすとか何とかというのは、何故かという町を維持できるかということだ。小値賀町役場と町を。そのためにはやっぱり小値賀町の役場が黙って基金とか何とかを隠し玉みたいにならずと持っていては仕方がないと思う。こういう地方創生が大きく叫ばれる時に、思い切って町長も使っていていいと思う。本会議でも言ったが、子どもの件でも、ああいううちまちま出すような感じじゃなくて、本当に子どもを宝みたいにするような政策をやってほしい。

**委員長（土川重佳）** 今田委員

**委員（今田光弘）** このまま議事録が残ると、みんながそんな考えに思われるかもしれないので、僕は、言っていることは分かるが、やはり財政規模を大きくするというのは基本的には反対だ。色んな数字が良くなってはいるのだろうが、財政力指数か、小値賀が今0.1あるかないか、日本全国の中でも最低レベルだ。この状況で本当に、全額返さなくていいとかいう考え方のもとで借金を増やしてしまっただけは、怖い。はっきり言って。ただ必要事業に関しては、今お金をかけなければいけないというのはあると思うので、何にかけるかというところを本当に精査していかなければならないし、町民が思っていることを一番反映させなければいけないのは、議員であり議会なので、その辺はもっと執行部と議会がやりあっていいのかと、僕は思っている。

**委員（横山弘藏）** 例えば役場のマンパワー不足で職員を募集しても良い人材が集まらなると町長が嘆いている。そう思うのなら、佐世保市役所よりも給料を高くやるよ、ぐらいの思い切ったこともやっても良いと思う。今田議員が言うように、小値賀町の財政がおかしくなるようなことまではしてはいけないが、許せる範囲なら、良い人材を集めることにおいてはソフトバンクの孫さんみたいに何百億もやる必要はないけれど、給料を上げて良い人材を取るぐらいの、町長も、そして議会と執行部が「町長、この予算使すぎじゃないのか」と言うぐらいの喧嘩をしたい。どちらかという、今の事業を認めるか認めないかというぐらいのレベルであって、「ちょっと西さんやるじゃないか」というぐらいの、町がなくなるかもしれないような、こういう時にはそういう議論もしたいと思った。

**委員長（土川重佳）** 皆さんの胸三寸で素晴らしい結果が出ると思うが、私からも一言だけ。私も委員長として皆さんの意見を拝借し、執行部のやり方も見て、ただ何も見えてないのは執行部だ。柱が見えていない。どこに向かっているのかというのがない。まず基本の柱を一本建てることから始めてほしかったなど。あとは皆さんと一緒に、これ以上はない。

ほかにないか。

（「意見なし」と呼ぶ者あり）

**委員長（土川重佳）** 採決は3月14日の特別会計の質疑及び意見を聞いた後で、付託され

た全ての案件について行いたいと思う。

3月14日は午前10時から会議。7つの特別会計予算。

本日はこれにて散会する。

— 午後 5 時 09 分 散会 —